

アンケート調査結果速報

I

アンケート調査結果速報

1. 配布・回収状況

(1) 全体

	配布	回収数	回収率
高齢者一般	1,300	692	53.2%
介護認定者	1,000	431	43.1%

(2) 圏域別

		配布	回収数	回収率
石狩圏域	高齢者一般	980	550	56.1%
	介護認定者	840	378	45.0%
	合 計	1,820	928	51.0%
厚田圏域	高齢者一般	160	70	43.8%
	介護認定者	80	38	47.5%
	合 計	240	108	45.0%
浜益圏域	高齢者一般	160	72	45.0%
	介護認定者	80	15	18.8%
	合 計	240	87	36.3%

2. 属性

		高齢者一般		介護認定者	
性別	男性	338	48.8%	193	44.8%
	女性	332	48.0%	233	54.1%
	不明	22	3.2%	5	1.1%
年齢	40～64歳	—	—	6	1.4%
	65～74歳	291	42.1%	103	23.9%
	75歳以上	360	52.0%	292	67.7%
	不明	41	5.9%	30	7.0%
合 計		692	100.0%	431	100.0%

			高齢者一般		介護認定者	
家族構成	一人暮らし		89	12.9%	61	14.2%
	家族など同居		567	81.9%	262	60.8%
	その他		14	2.0%	101	23.4%
	不明		22	3.2%	7	1.6%
要介護度等	要支援1		—	—	59	13.7%
	要支援2		—	—	82	19.0%
	要介護1		—	—	86	20.0%
	要介護2		—	—	61	14.1%
	要介護3		—	—	50	11.6%
	要介護4		—	—	38	8.8%
	要介護5		—	—	28	6.5%
	不明		—	—	27	6.3%
合 計			692	100.0%	431	100.0%
圏 域 別	石狩圏域	男性	269	48.9%	173	45.8%
		女性	261	47.5%	200	52.9%
		不明	20	3.6%	5	1.3%
	合 計		550	100.0%	378	100.0%
	厚田圏域	男性	35	50.0%	12	31.6%
		女性	33	47.1%	26	68.4%
		不明	2	2.9%	0	0.0%
	合 計		70	100.0%	38	100.0%
	浜益圏域	男性	34	47.2%	8	53.3%
		女性	38	52.8%	7	46.7%
		不明	0	0.0%	0	0.0%
	合 計		72	100.0%	15	100.0%

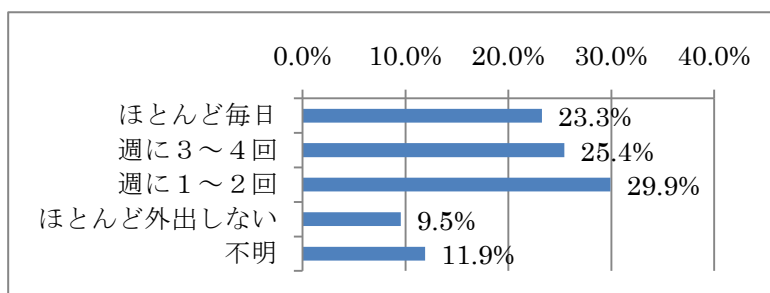
3. 外出や近所付き合い（高齢者一般）

◎外出の頻度は、「ほとんど毎日：23.3%」と「週に3～4回：25.4%」で約半数を占めるが、「週に1～2回：29.9%」「ほとんど外出しない：9.5%」と約4割みられる。

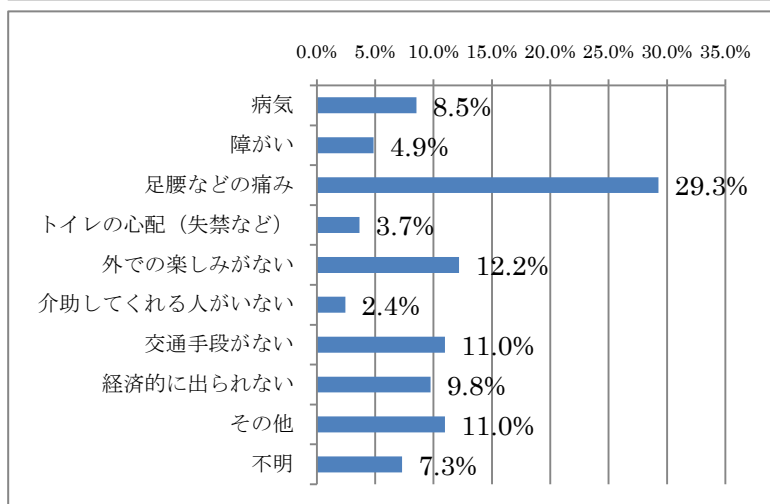
◎外出を控えている理由については、「足腰などの痛み：29.3%」が最も多く心身的な要因が約半数を占めている。

◎友人や親戚等の行き来については、「行く：58.0%」、「来る：69.8%」と半数以上を占めるが、頻度については「月1～2回：45.4%、43.7%」と最も多くなっている。

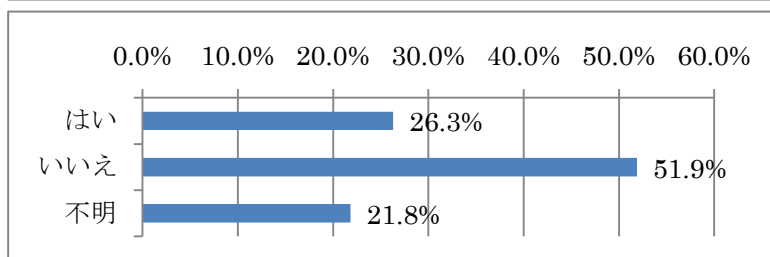
■外出頻度



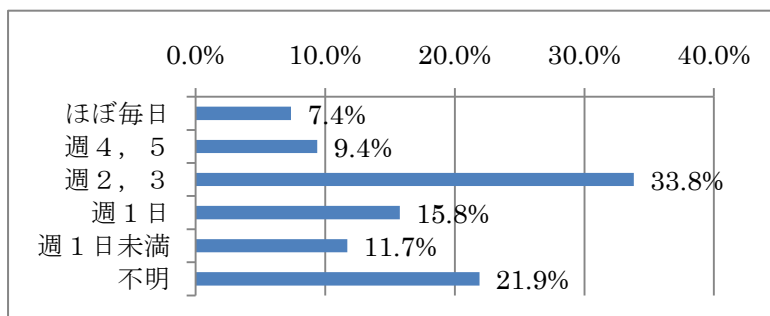
■外出を控えている理由 (複数回答)



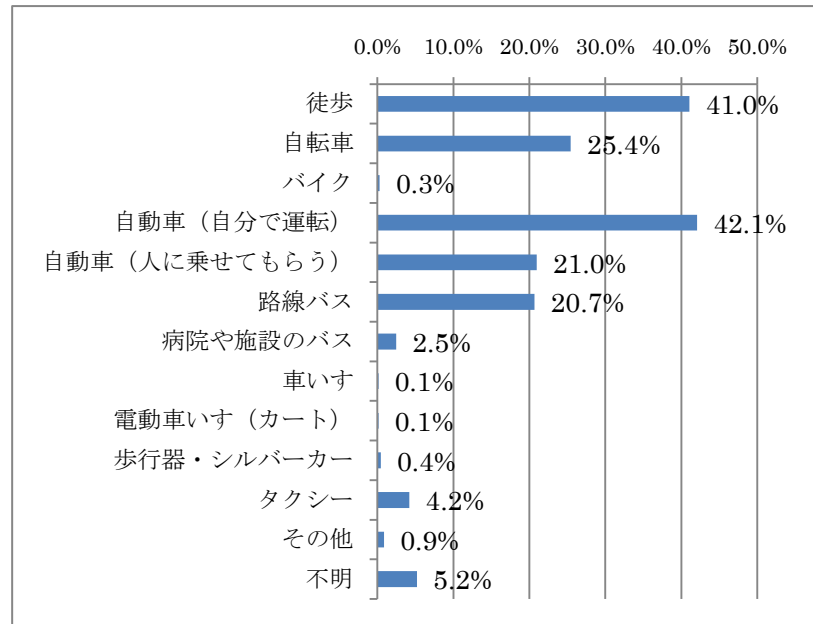
■昨年と比べて外出の回数 が減っているか



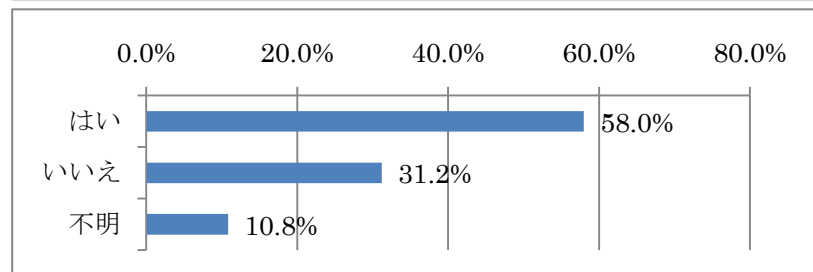
■買物で外出する頻度



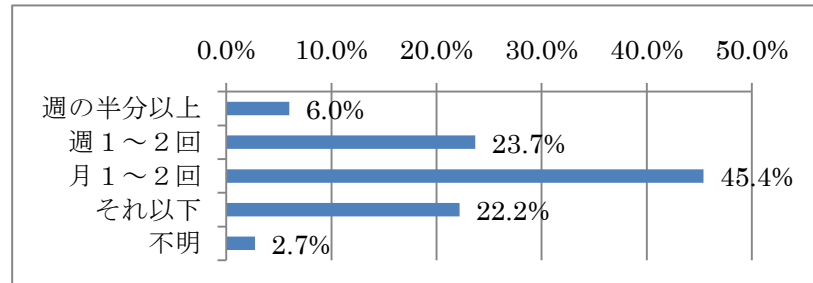
■外出する際の移動手段
(複数回答)



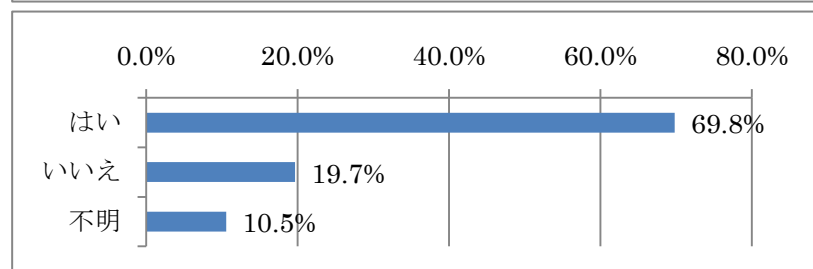
■友人や親戚等の家を訪
ているか



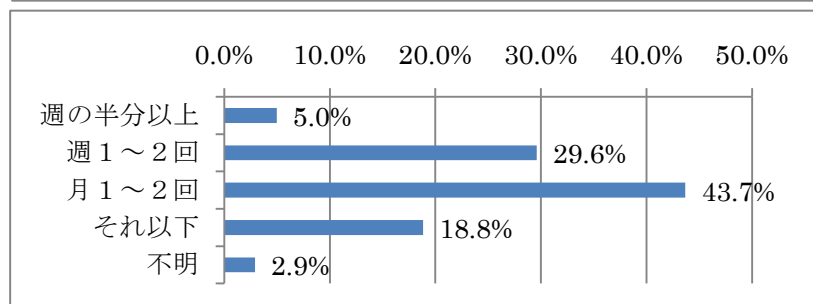
■どのくらい訪ねている
か



■友人や親戚等が訪ねて
くるか



■どのくらい訪ねてくる
か



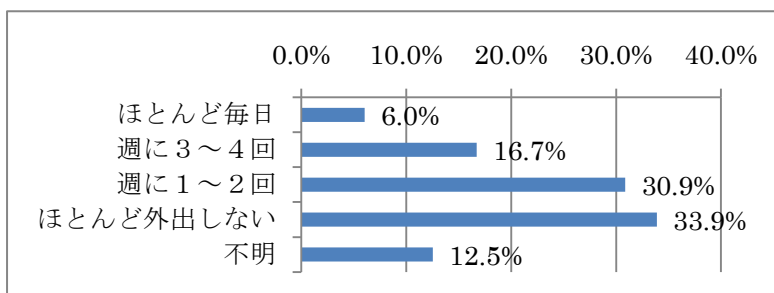
4. 外出や近所付き合い（介護認定者）

◎外出の頻度は、「週に1～2回：30.9%」と「ほとんど外出しない：33.9%」で半数以上を占める。

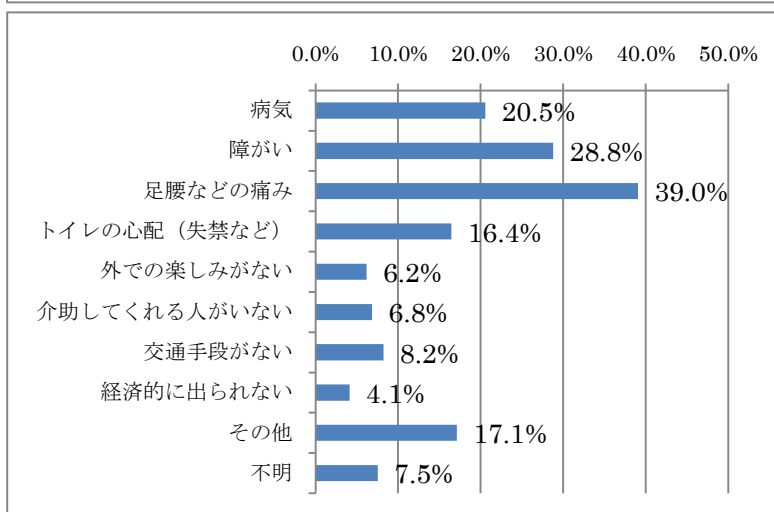
◎外出を控えている理由については、「障がい：28.8%」「足腰などの痛み：39.0%」等心身的な要因が多くなっている。

◎友人や親戚等の行き来については、「行く：21.3%」と約2割。「来る：62.7%」で半数以上を占めるが、友人や親戚等が訪ねてくる頻度は「月1～2回：36.3%」「週1～2回：20.7%」となっている。

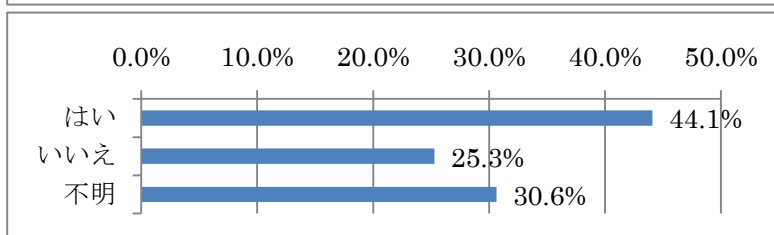
■外出頻度



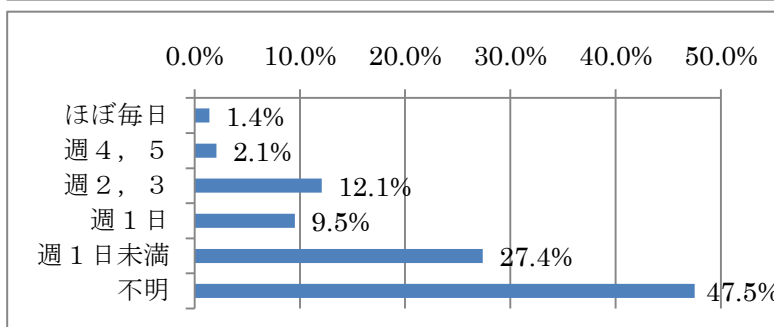
■外出を控えている理由 (複数回答)



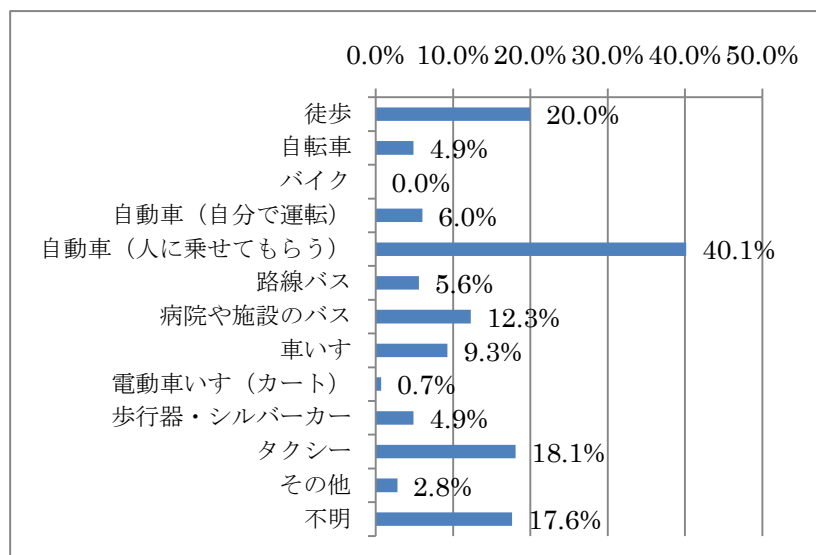
■昨年と比べて外出の回数 が減っているか



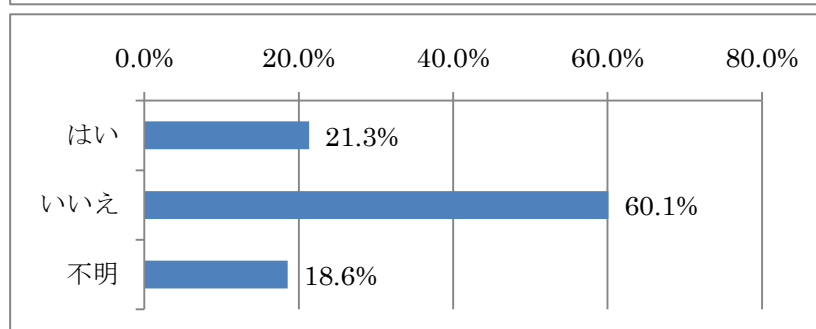
■買物で外出する頻度



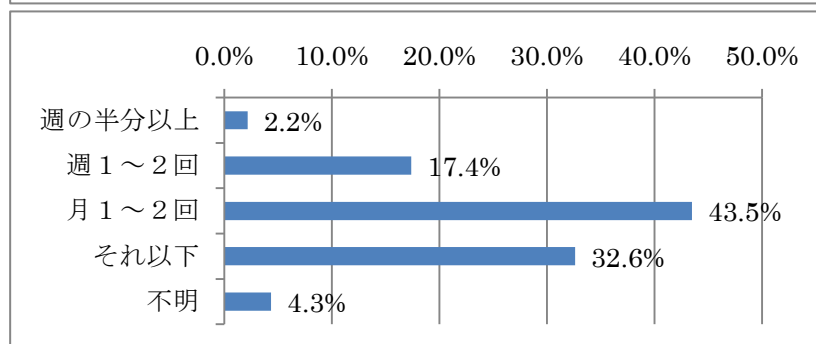
■外出する際の移動手段
(複数回答)



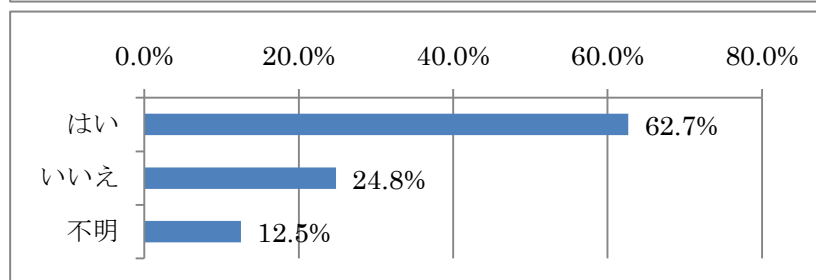
■友人や親戚等の家を訪
ているか



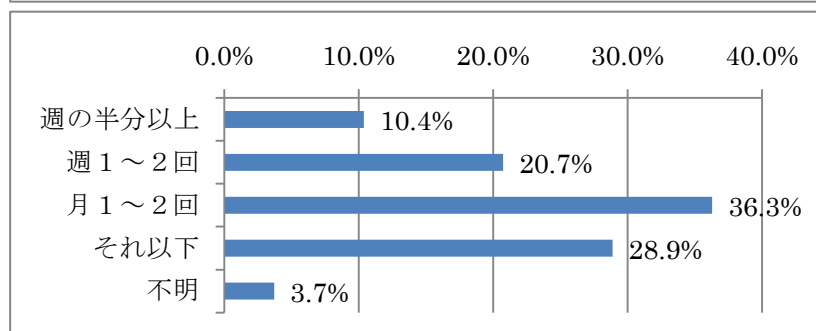
■どのくらい訪ねている
か



■友人や親戚等が訪ねて
くるか



■どのくらい訪ねてくる
か



5. 日常生活（一般高齢者）

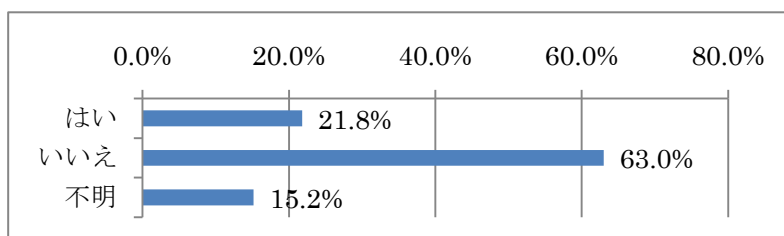
◎この1年間に転んだことがあるかについて「いいえ：63.0%」が半数以上であるが、転倒に対する不安は大きいかについては「はい：43.9%」「いいえ：44.5%」とほぼ同じ割合となっている。

◎食事については、「三食とっている：91.4%」とほとんどがとっており、「食事の用意をしている：60.9%」で、できる人は85.2%を占めている。

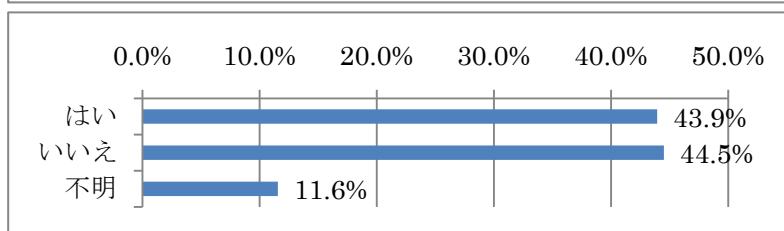
◎預貯金・洗面歯磨き・トイレ・入浴については、すべての項目について「できる」が90%以上を占めている。

◎生活を送る上での支援については「ない：76.2%」となっているが、してほしいことについては「雪下ろし・雪かき：62.5%」と最も多くなっている。

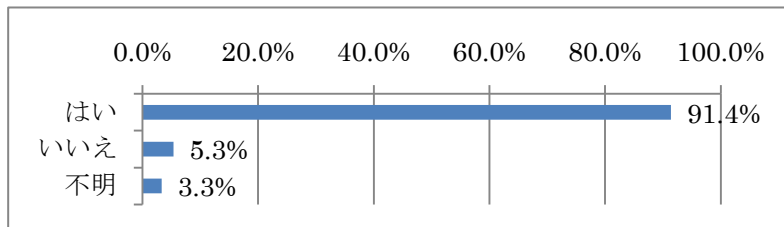
■この1年間に転んだことがありますか



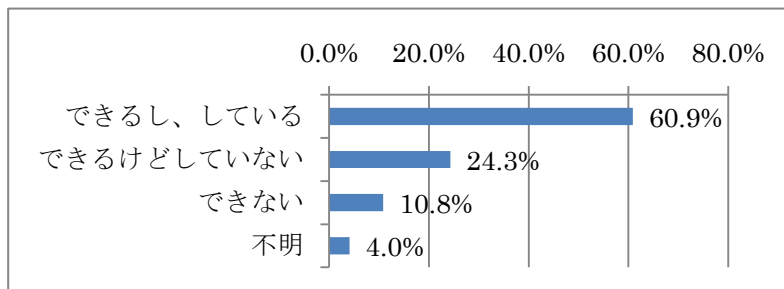
■転倒に対する不安は大きいですか



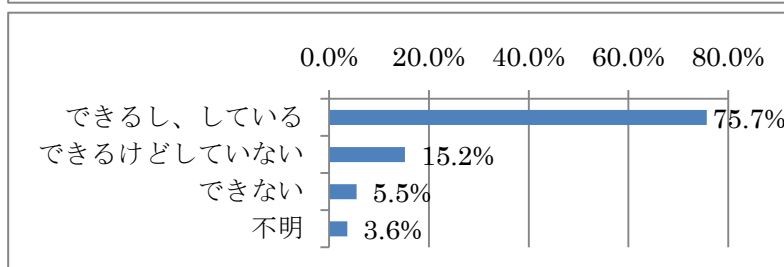
■食事は三食とっているか



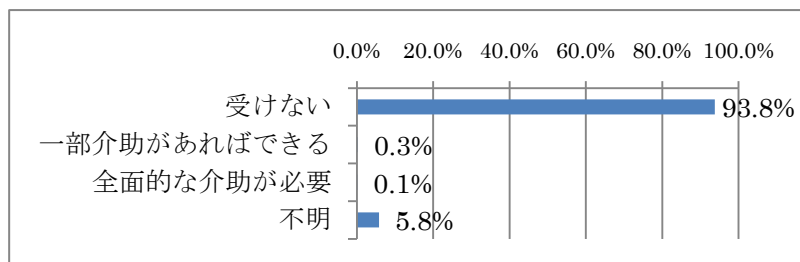
■自分で食事の用意をしているか



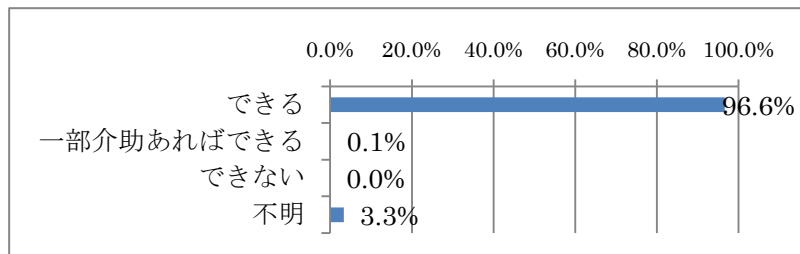
■預貯金の出し入れをしているか



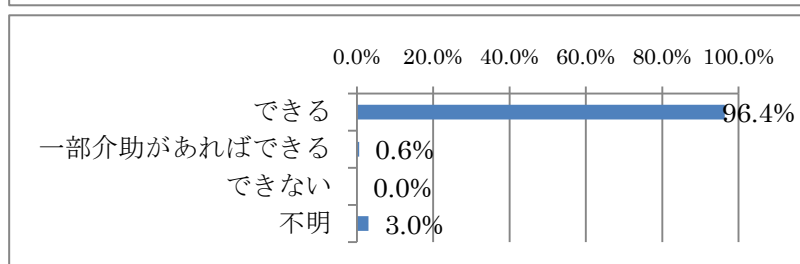
■ 寝床に入るとき、何らかの介助を受けるか



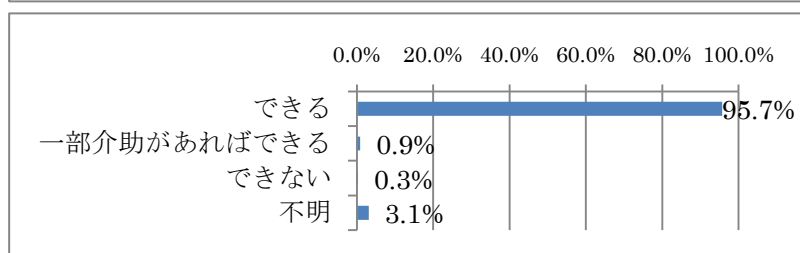
■ 自分で洗面や歯磨きができるか



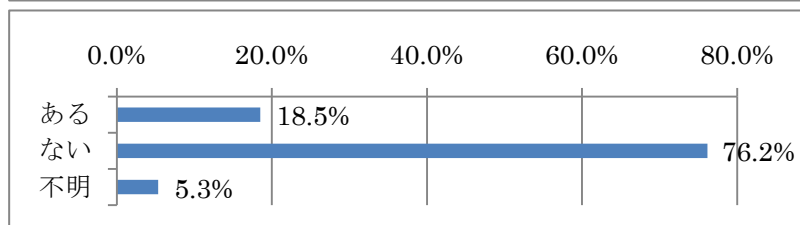
■ 自分でトイレができるか



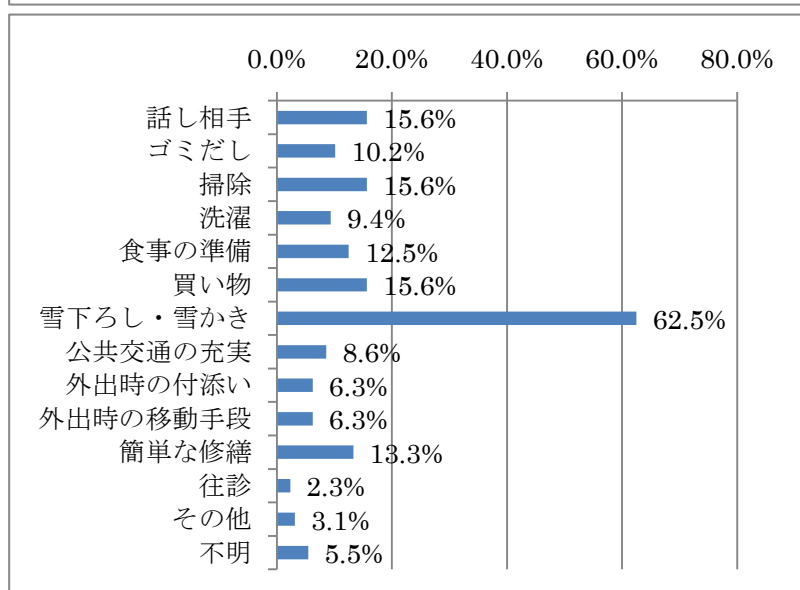
■ 自分で入浴ができるか



■ 生活を送る上で、援助や支援してほしいことがあるか



■ 援助や支援をしてほしいことは何ですか
(複数回答)



6. 日常生活（介護認定者）

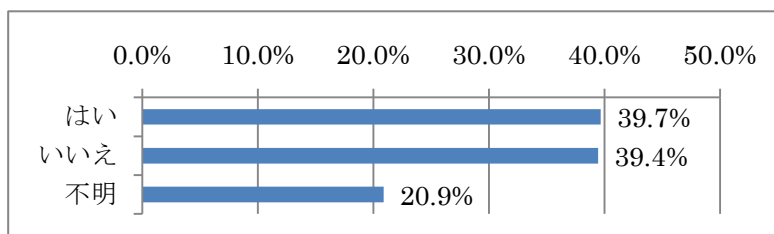
◎この1年間に転んだことがあるかについて「はい：39.7%」「いいえ：39.4%」とほぼ同じ割合となっている。転倒に対する不安は大きいかについては「はい：76.3%」と多くなっている。

◎食事については、「三食とっている：89.1%」とほとんどがとっており、「食事の用意をしている：24.6%」で、できる人は：34.4%となっている。

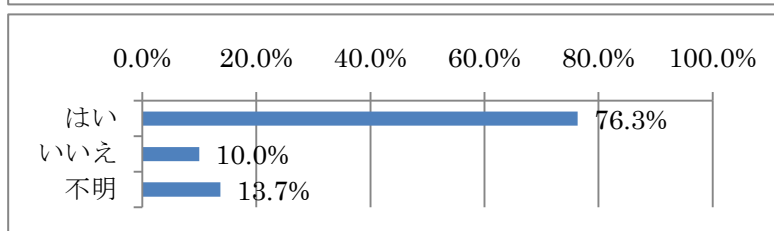
◎洗面歯磨き・トイレについては、「できる」が70%を超えているが、預貯金「できる：40.6%」入浴「できる：44.3%」となっている。

◎生活を送る上での支援については「ある：49.0%」となっており、してほしいことについては「雪下ろし・雪かき：49.8%」と最も多くなっており、次いで「掃除：46.0%」となっている。

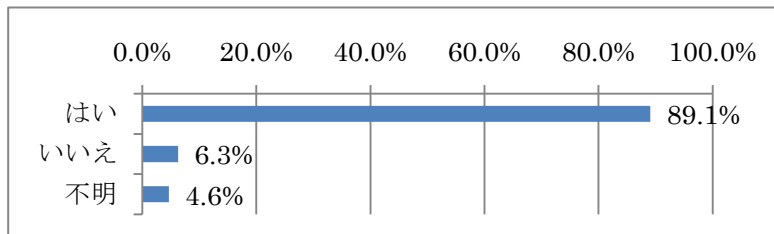
■この1年間に転んだこと



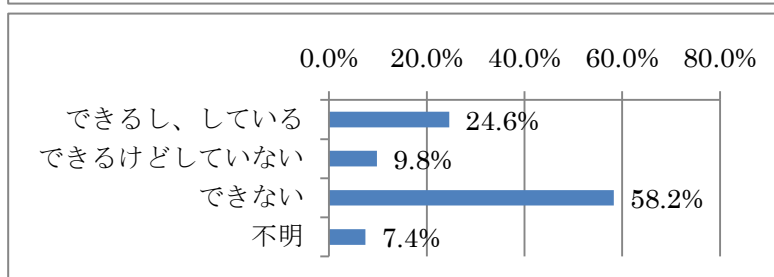
■転倒に対する不安は大きいですか



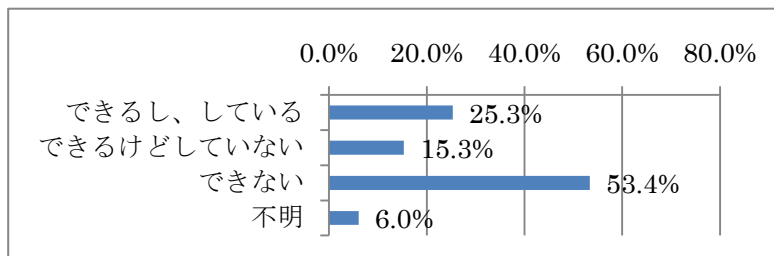
■食事は三食とっているか



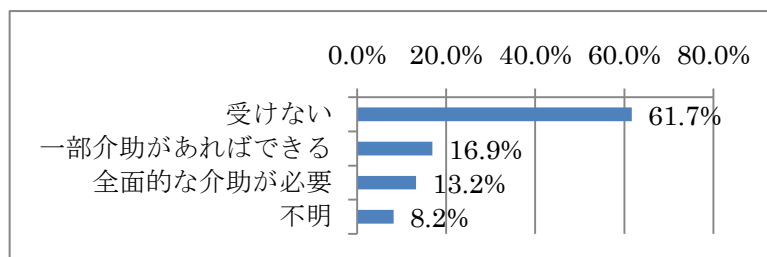
■自分で食事の用意をしているか



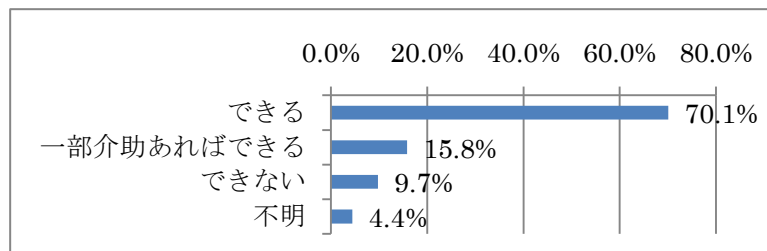
■預貯金の出し入れをしているか



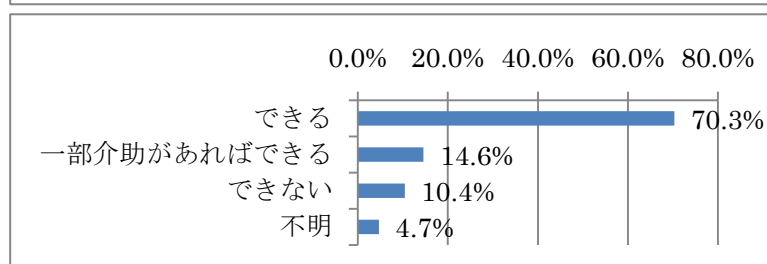
■ 寝床に入るとき、何らかの介助を受けるか



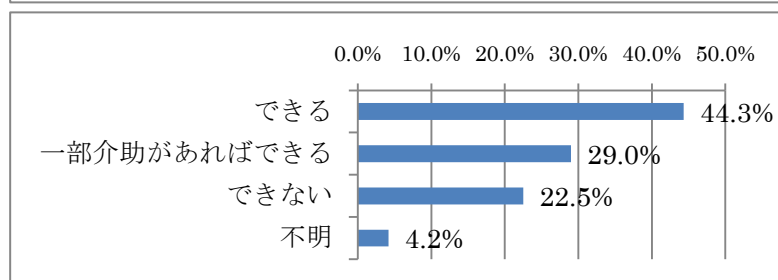
■ 自分で洗面や歯磨きができるか



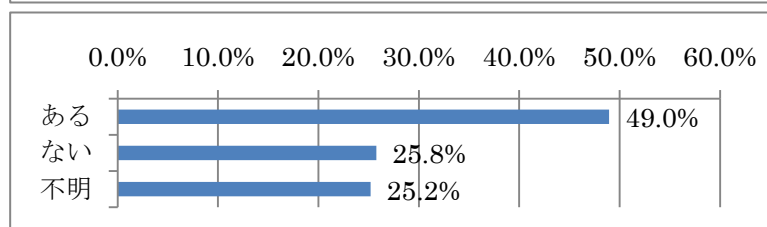
■ 自分でトイレができるか



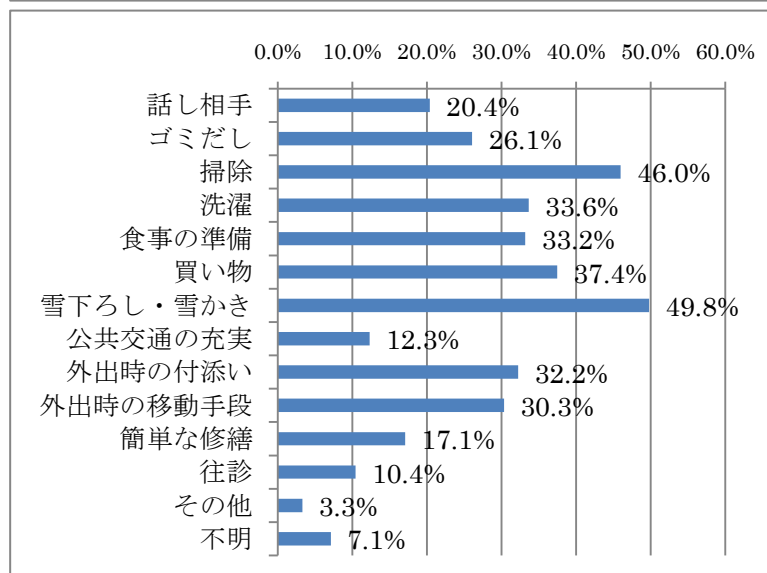
■ 自分で入浴ができるか



■ 生活を送る上で、援助や支援してほしいことがあるか



■ 援助や支援をしてほしいことは何ですか
(複数回答)



7. 社会参加について（一般高齢者）

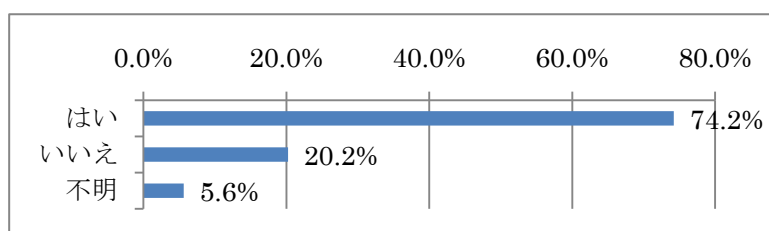
◎趣味があるかについては、「ある：74.2%」となっている。

◎生きがいがあるかについては、「ある：86.7%」となっている。

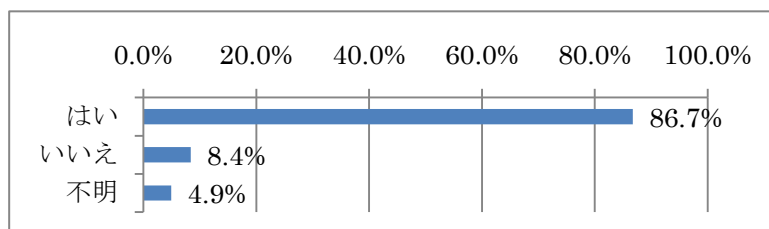
◎生きがいについては、「庭木や花等の園芸：42.6%」と最も多くなっており、次いで「農作業や畑仕事：29.7%」、「旅行：26.9%」となっている。

厚田圏域、浜益圏域では「農作業や畑仕事：厚田46.8%浜益61.7%」と割合が高くなる。

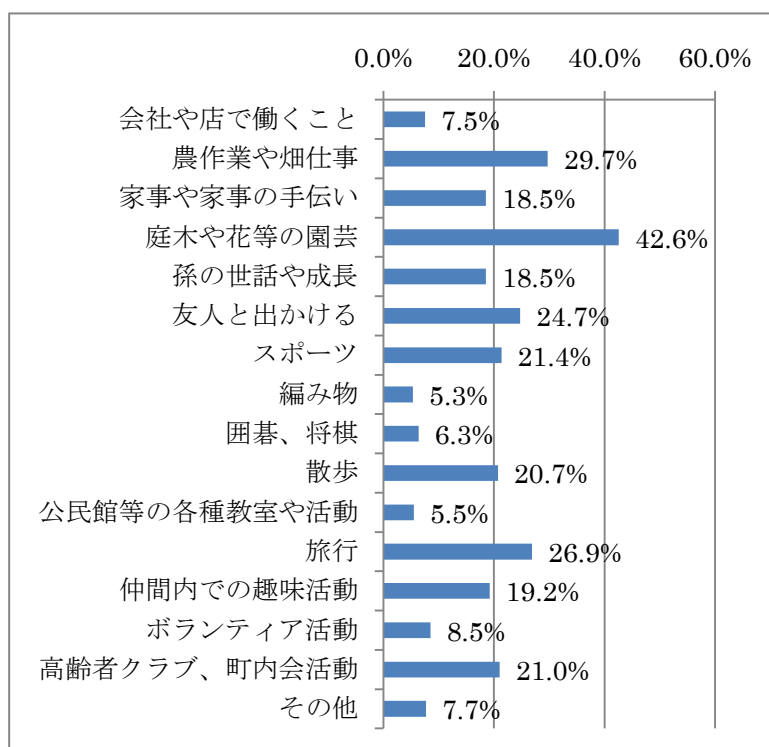
■趣味はありますか



■生きがいはありますか



■生きがいは何ですか (複数回答)



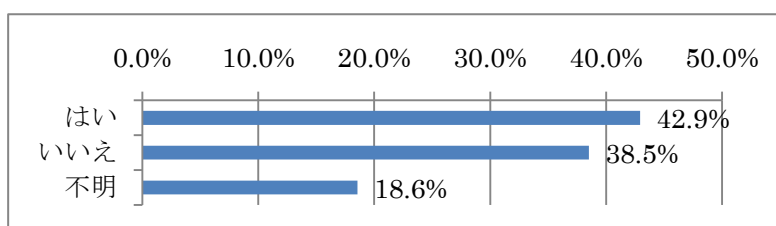
8. 社会参加について（介護認定者）

◎趣味があるかについては、「ある：42.9％」に対し「ない：38.5％」となっており、ほぼ同程度となっている。

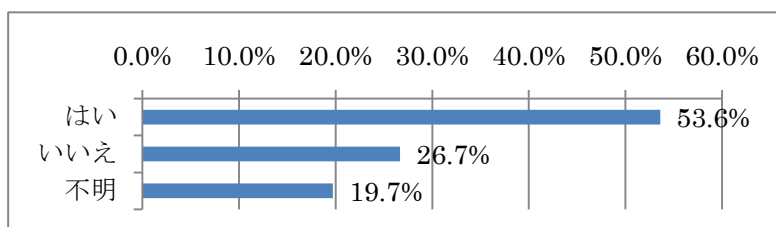
◎生きがいがあるかについては、「ある：53.6％」で半数以上となっている。

◎生きがいについては、「庭木や花等の園芸：25.5％」と最も多くなっており、次いで「孫の世話や成長：17.3％」、「散歩：16.9％」となっている。

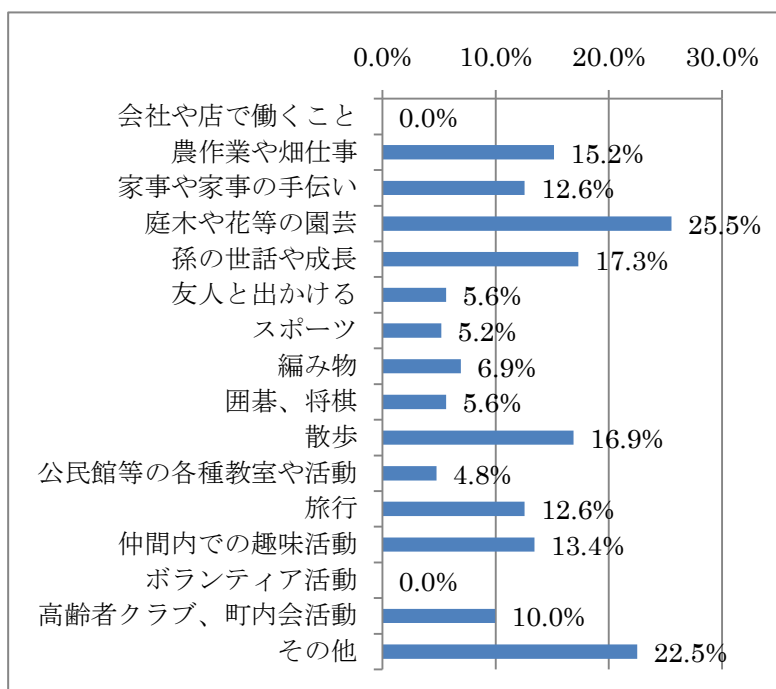
■趣味はありますか



■生きがいはありますか



■生きがいは何ですか (複数回答)



9. 健康について（一般高齢者）

◎自分が健康だと思うかについて、「まあまあ健康：64.6%」と最も多くなっている。

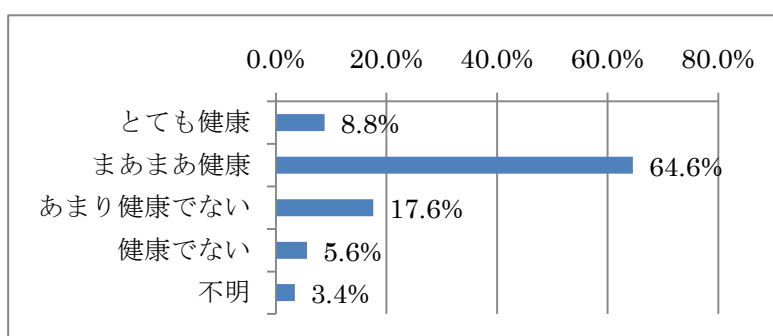
◎健康づくりに関して心掛けていることについては、「かかりつけ医を決めている：69.4%」と最も多く、次いで「規則的な食事をする：56.6%」となっている。

◎日頃運動している人は63.7%と多いものの、約3人に1人がしていない。

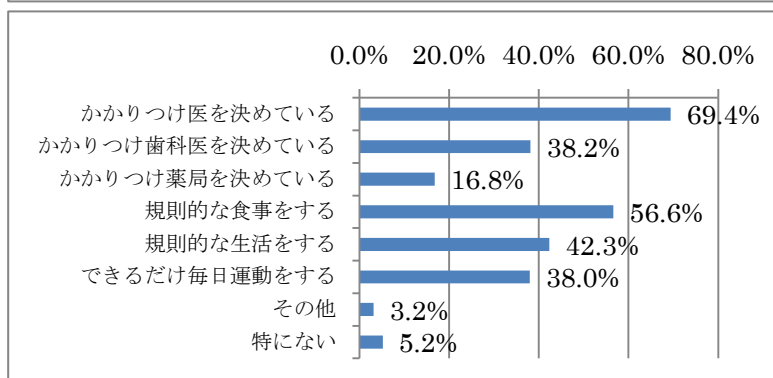
◎運動の頻度は、「ほとんど毎日：50.0%」とちょうど半数となっている。

◎運動をしない人の理由は「体を動かすことが好きではない：20.1%」「病気や身体上止められている：14.0%」「運動する施設や機会がない12.6%」といった理由となっている。

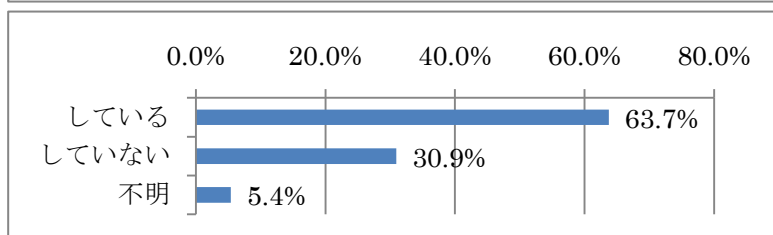
■普段、自分で健康だと思うか



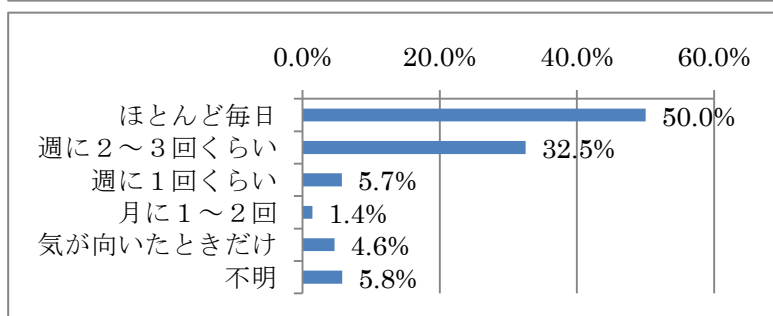
■健康づくりに関して、心掛けていることや実践していることは何ですか
(複数回答)



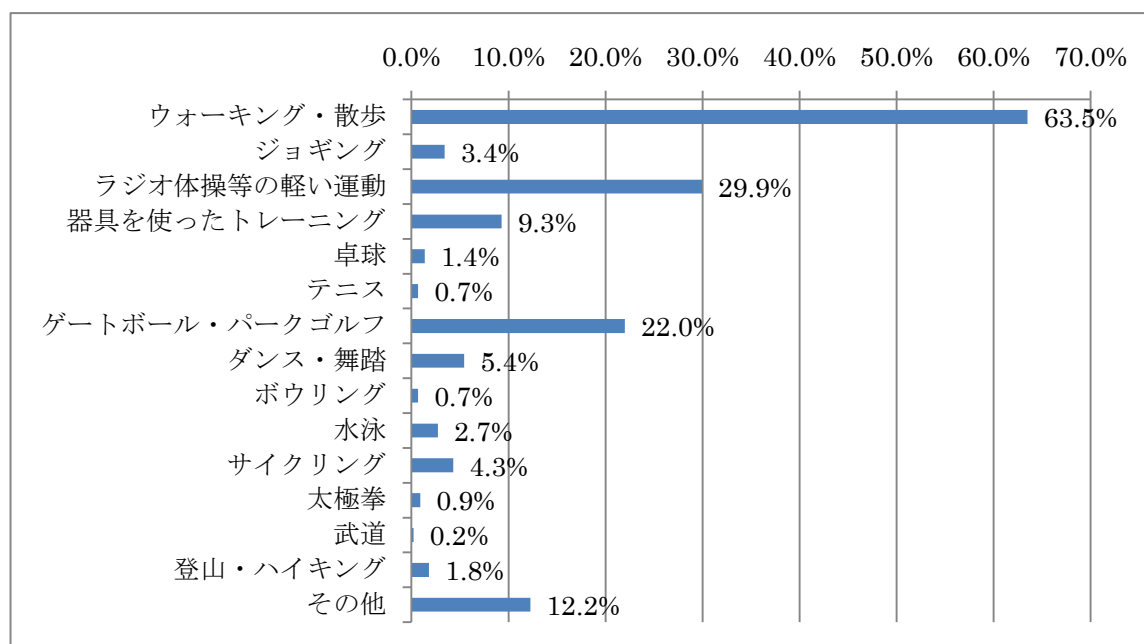
■日頃運動しているか



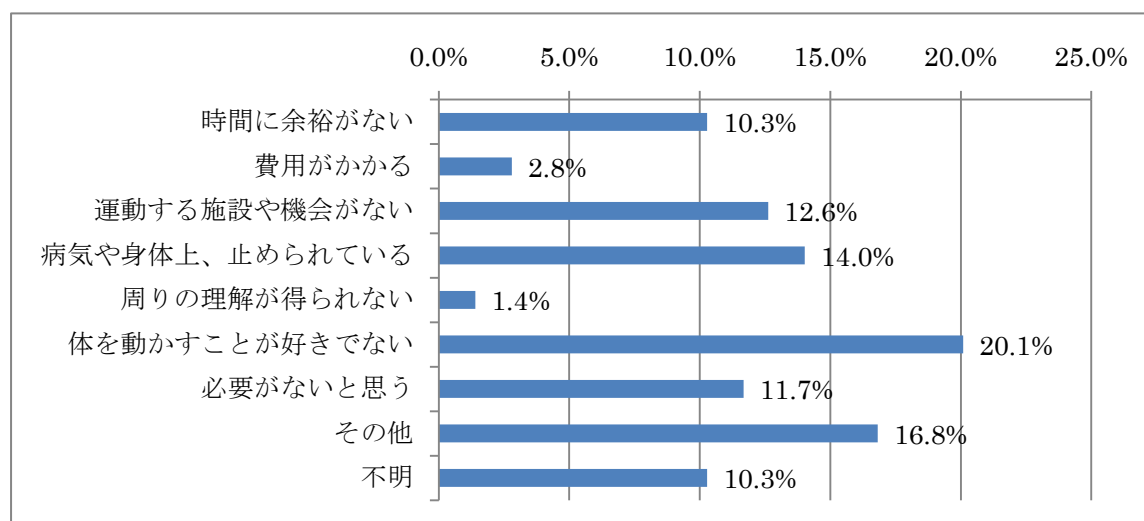
■運動している頻度は



■行っている運動はどのようなものか（複数回答）



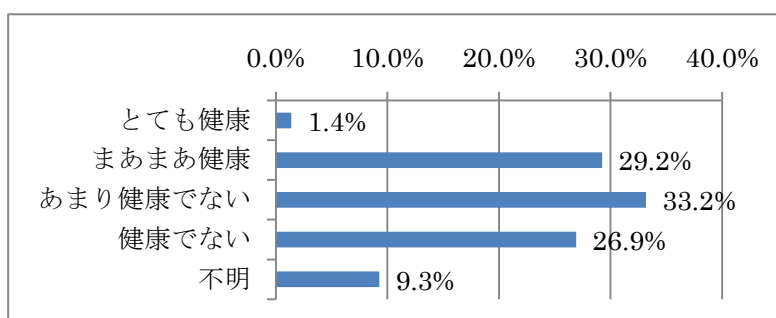
■運動していない理由



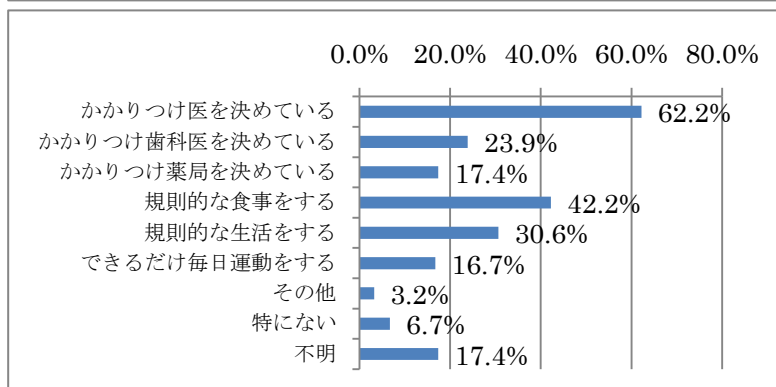
10. 健康について（介護認定者）

- ◎自分が健康だと思うかについて、「あまり健康でない：33.2%」と最も多くなっている。
- ◎健康づくりに関して心掛けていることについては、「かかりつけ医を決めている：62.2%」と最も多く、次いで「規則的な食事をする：42.2%」となっている。
- ◎日頃運動している人は39.2%となっており、していない人が45.9%と多くなっている。
- ◎運動の頻度は、「週2～3回くらい：40.5%」と最も多くなっている。
- ◎運動をしない人の理由は「病気や身体上止められている：21.8%」「体を動かすことが好きではない：17.8%」といった理由となっている。

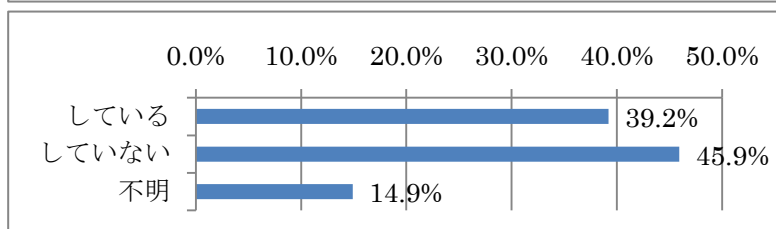
■普段、自分で健康だと思うか



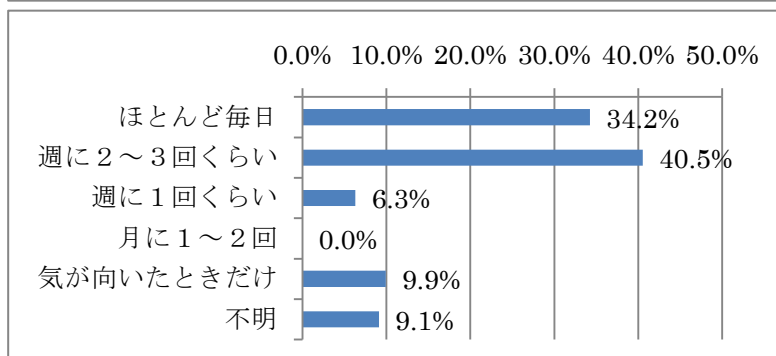
■健康づくりに関して、心掛けていたり実践していることは何ですか（複数回答）



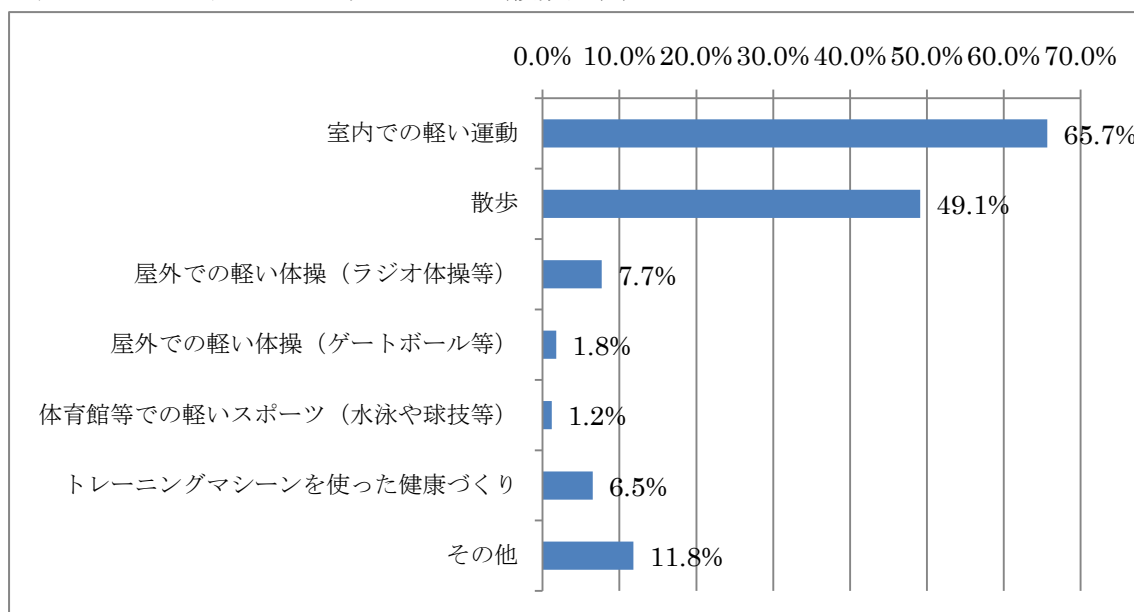
■日頃運動しているか



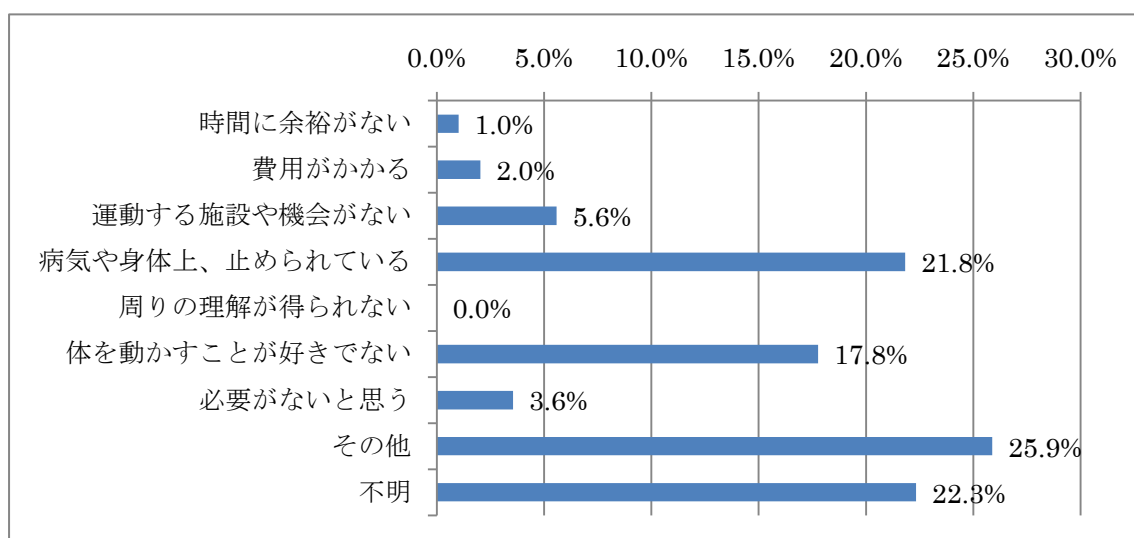
■運動している頻度は



■行っている運動はどのようなものか（複数回答）

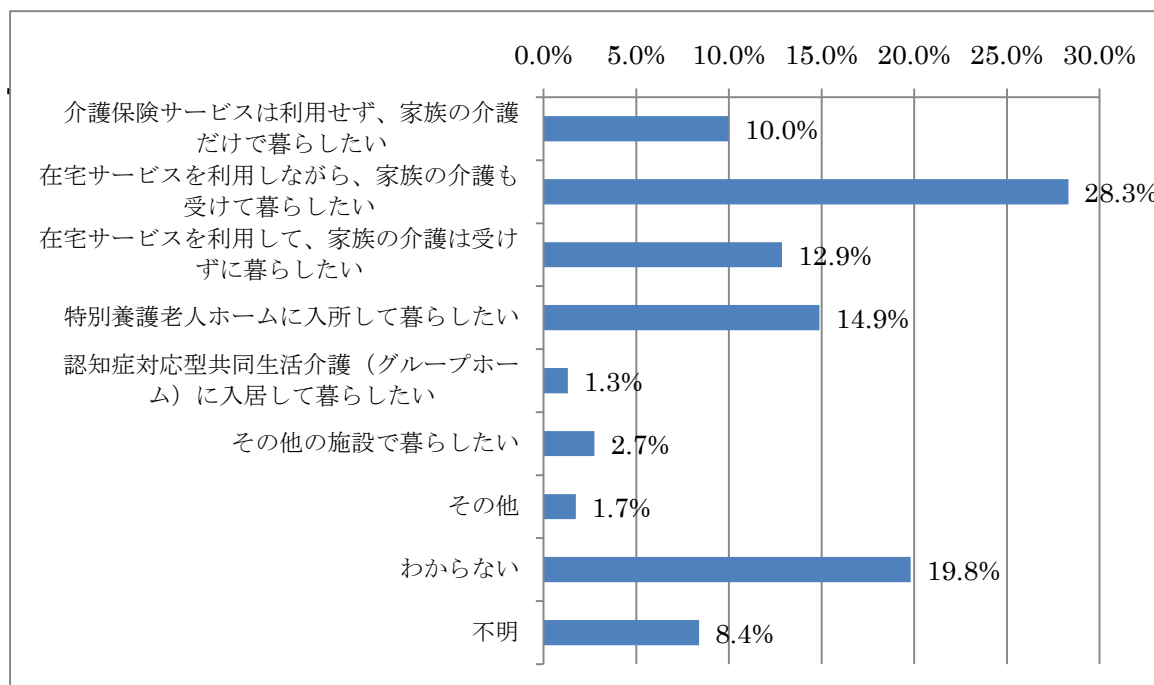


■運動していない理由



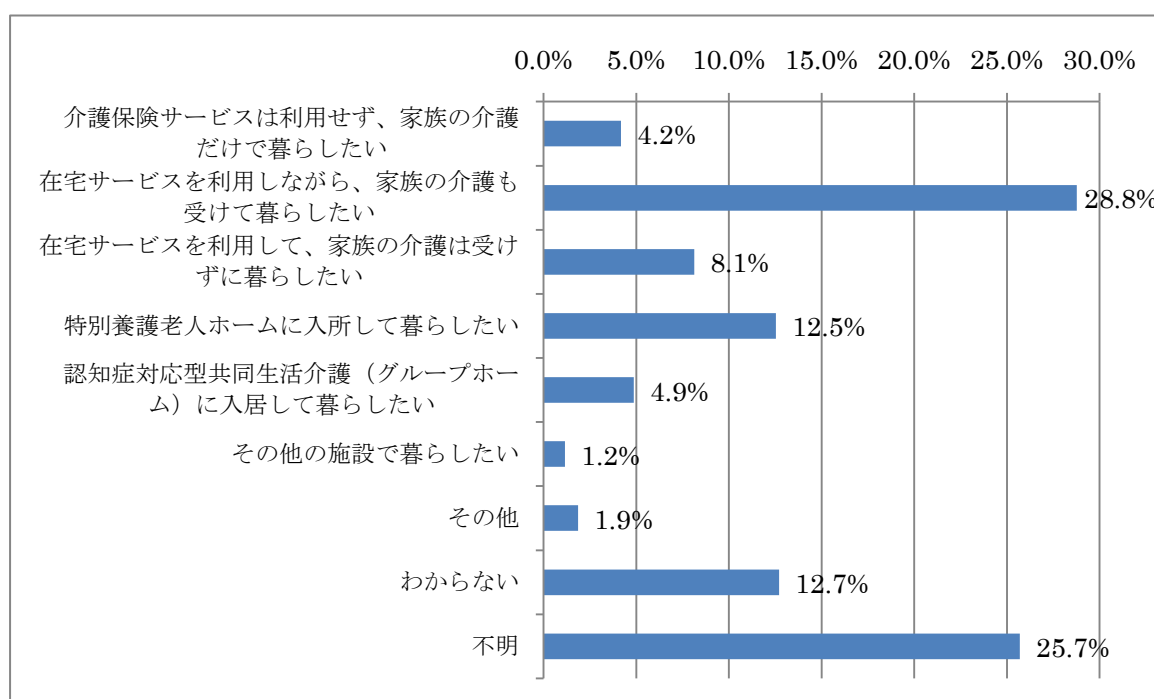
1 1. 介護のあり方の希望について（一般高齢者）

◎将来介護が必要になった時の介護を受ける形態の希望としては「在宅サービスを利用しながら、家族の介護も受けて暮らしたい：28.3%」が最も多く、在宅希望が高くなっている。



1 2. 介護のあり方の希望について（介護認定者）

◎介護認定者についても一般高齢者と同様の結果となっている。

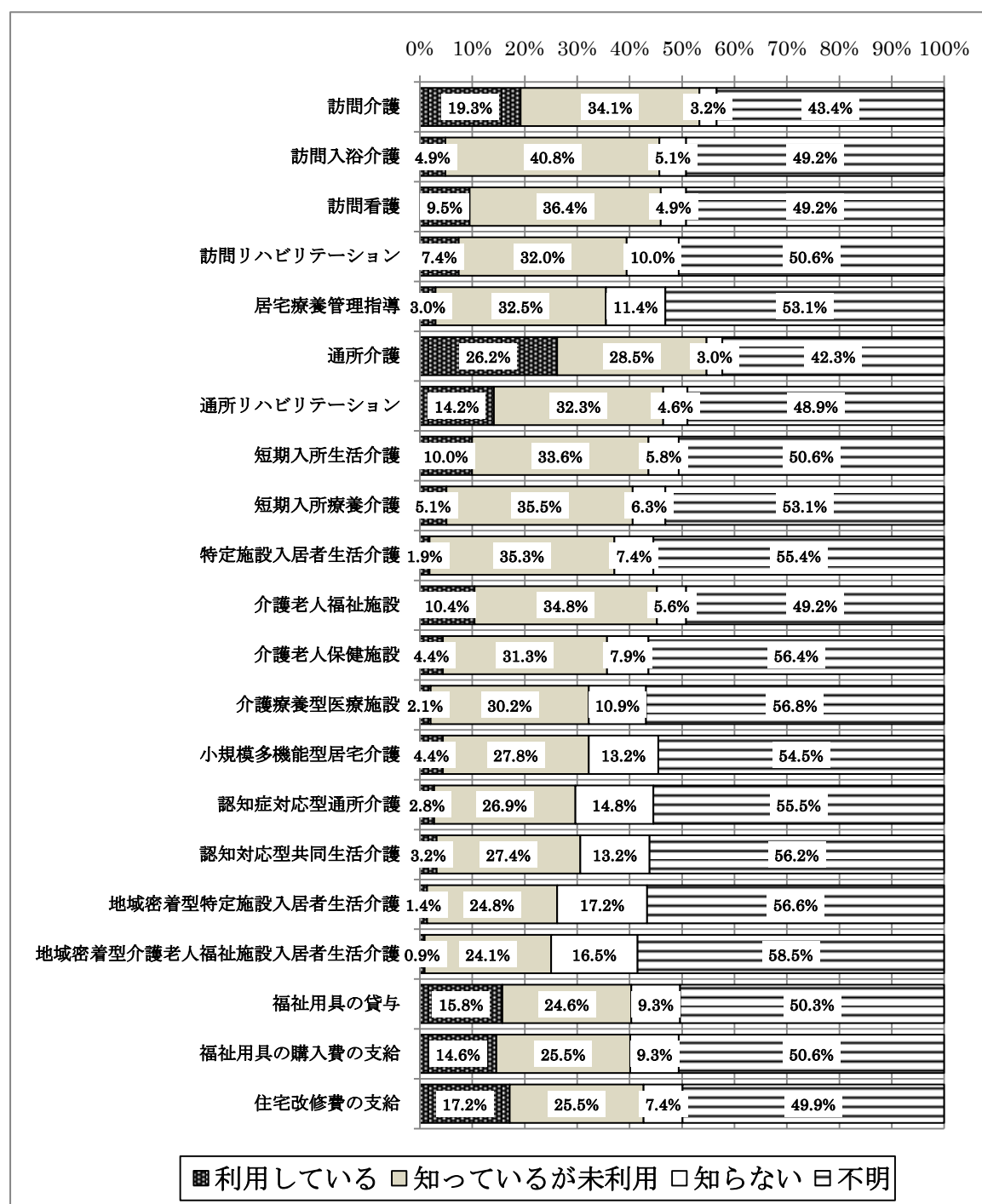


1 3．介護保険サービスの利用状況について（介護認定者）

◎利用者が最も多いのは「通所介護：26.2%」、次いで「訪問介護：19.3%」となっている。

◎サービスがあることを知られているのは「通所介護：54.7%」が最も多く、次いで「訪問介護：53.4%」「通所リハビリテーション：46.5%」「訪問看護：45.9%」となっている。

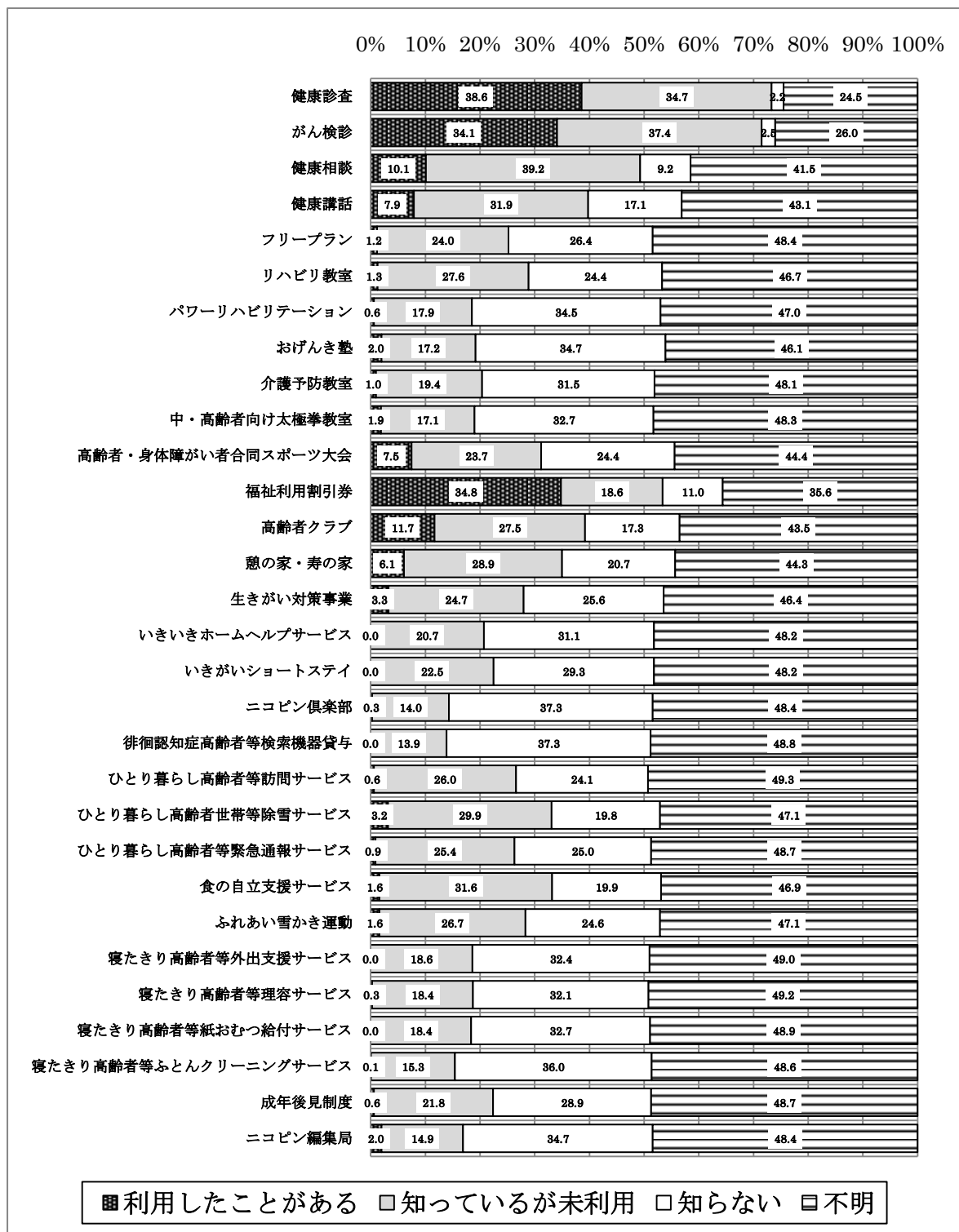
■介護保険サービスの利用状況



1 4. 高齢者保健・福祉サービスの利用経験について（一般高齢者）

◎利用されているサービスは「健康診査：38.6%」「がん検診：34.1%」「福祉利用割引券：34.8%」の3つが主なものとなっている。

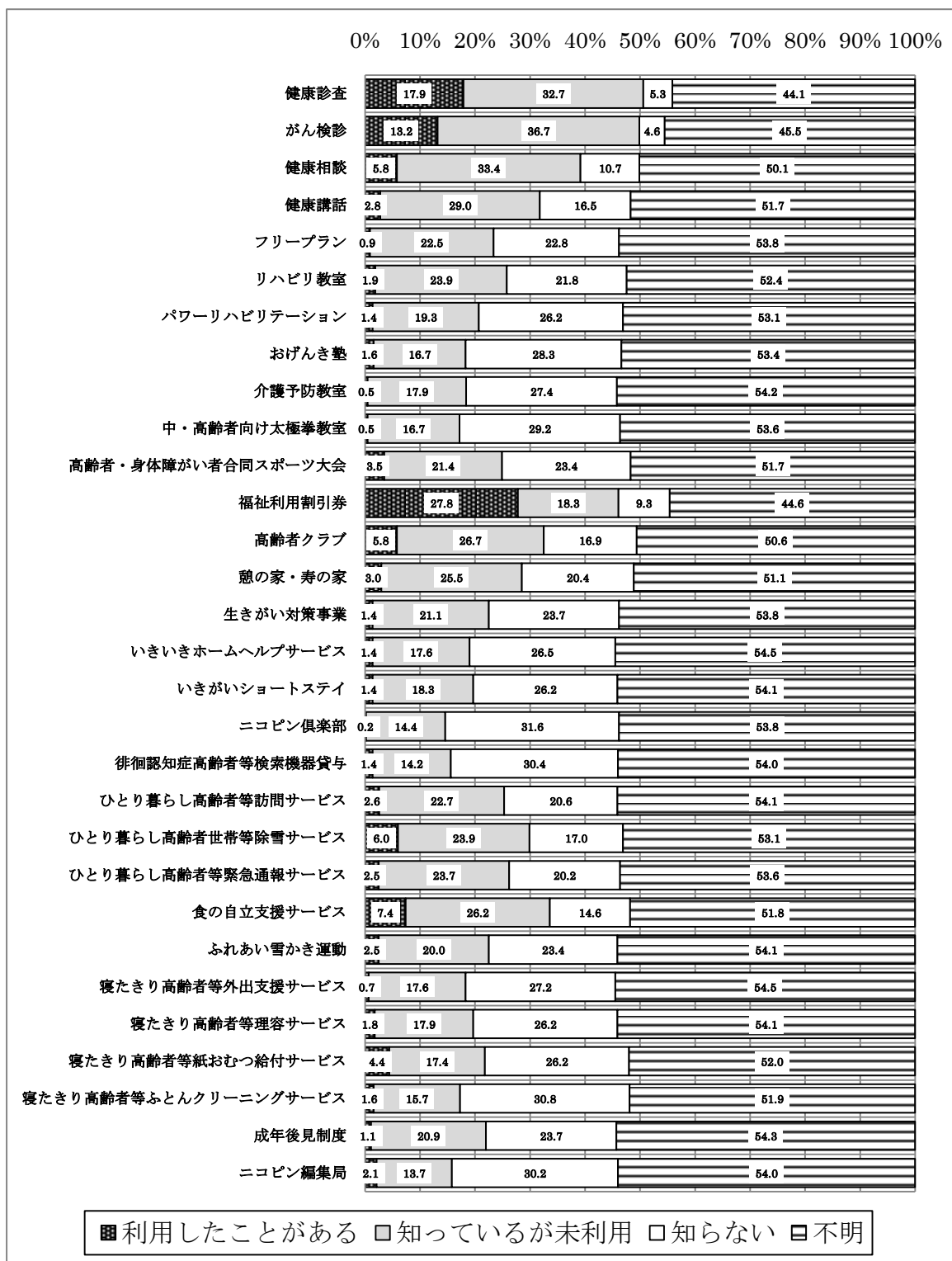
◎サービスがあることを知られているもので50%を超えているものも上記の3つのサービスとなっている。



1 5. 高齢者保健・福祉サービスの利用経験について（介護認定者）

◎利用されているサービスは「福祉利用割引券：27.8%」「健康診査：17.9%」「がん検診：13.2%」の3つが主なものとなっている。

◎サービスがあることを約半数の方に知られているものも上記の3つのサービスとなっている。



資料 2

第 4 期計画の課題と第 5 期計画での施策の考え方

1. 第4期の施策の検証と第5期計画での施策（案）

- 第4期計画の施策について、今後の主要課題は以下のものである。
- ▽高齢期の健康づくりでは、介護予防の必要性や食・運動を通じた健康づくりなどの啓発、各種検診等の受診率向上に向けた対策が必要。
 - ▽高齢者の自立を支えるサービス提供の推進では、各種支援サービスの利用者拡大に向けた周知と、利用者のニーズに応えるためのサービス提供体制の充実が必要。
 - ▽高齢者を地域で支えるサービスコミュニティづくりでは、地域ネットワーク体制の充実と、それを支える人材の育成が必要。
 - ▽生きがいと張り合いのある高齢期の生活の質の確保では、高齢者クラブの活性化、高齢者の就労の確保への対策が必要。
 - ▽高齢者が暮らしやすい魅力あるまちづくりの推進では、財源との関連も含めながらさらなるバリアフリーの推進や公的な住宅の整備とともに、除雪への対策が必要。

■第4期計画の施策体系に基づく主要課題

(注：★は4期には無かった施策)

施策		課題
Ⅰ・高齢期の健康づくりの推進	1. 健康増進の推進	○地域包括支援センターとの連携強化 ○高齢者向けに即した各種対応 ○地域に対する積極的な働きかけ ○各種検診等の受診率向上に向けた対策 ★食を中心とした健康づくりの推進
	2. 介護予防の推進	○対象者の把握方法や各種実施事業の開催方法等の再検討 ○介護予防の必要性の啓発強化 ○各種トレーニングや機能訓練等への参加者促進対策 ○介護家族者への支援策 ★介護予防をサポートする人材の育成

施策		課題
Ⅱ. 高齢者の自立を支える サービスの提供の推進	1. 総合的サービス提供体制の整備	○地域包括支援センターの認知度の向上 ○サービスの周知機会の充実
	2. 生活支援サービスの充実	○介護サービスの質の向上とサービスの適正化 ○権利擁護事業のさらなる充実
	3. 施設サービスの充実	○居住福祉型施設のユニット化への対応 ○安価な住宅の供給
	4. 福祉人材の養成	○介護支援専門員への情報提供や学習機会の充実 ○ボランティア研修等を受けた方の事後研修等の対応
Ⅲ. 高齢者を地域で支える サービスコミュニティ づくり	1. 支え合うところや意識づくりの推進	○各種啓発事業のあり方の再検討 ○ホームページを活用したリアルタイムでの情報提供 ○ボランティアニーズの掘り起こし
	2. 地域ケア体制の整備	○協働事業の推進による地域ネットワーク体制の充実 ○地区社協の新たな事業展開 ○民生・児童委員との連携による体制強化 ○高齢者を活動の対象としたボランティア団体等の育成 ★認知症高齢者や家族へのサポート体制の強化
Ⅳ. 生きがいと張り合いのある高齢者の生活の質の確保	1. 社会参加・社会貢献活動の促進	○高齢者クラブの活動の活性化 ○世代間交流の促進 ○シニアボランティアの位置づけ ○生涯スポーツの推進に向けた環境の整備
	2. 就労の促進	○高齢者の雇用の確保 ○ジルバー人材センターの新たな事業の確保
Ⅴ. 高齢者が暮らしやすい魅力あるまちづくりの推進	1. ユニバーサルデザインによるまちづくり	○バリアフリー化に向けた対象施設（既存施設）の把握 ○ふれあい雪かき運動の普及促進 ○除雪サービス利用者増加に伴う請負事業者の確保
	2. 良質な住宅の普及促進	○公営住宅の整備促進（但し、財源上厳しい状況） ○安価な住宅の提供

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
I 高齢期の健康づくりの推進	1 健康増進の推進	① 健康相談機会の充実	保健推進課	地域の会館等、身近な場所で相談を受けられる機会など利用しやすい健康相談機会の充実に努めます。	継続	同左
		② 健康づくりに関する啓発・情報提供の促進	保健推進課	「健康いしかり21」を健康づくりの目標として普及啓発を強化するとともに、市広報・ホームページ、各種イベント等を通じ高齢者の健康づくりに関する啓発・情報提供を推進します。	継続	「石狩市健康づくり計画」を具体的な取り組み事項とし、市広報、ホームページ、各種イベント等を通じ高齢者の健康づくりに関する啓発・情報提供を行います。
		③ 歯・口腔の健康づくりの推進	保健推進課	高齢期の健康の保持増進のため、8020（ハチマルニイマル）運動を推進します。	拡充	「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進するとともに、口腔機能向上の意義・内容・効果等について情報提供し、普及啓発を図ります。
		④ 健康増進事業の推進	保健推進課	高齢者一人ひとりの健康づくりを支援するため、地域の会館など身近な場所での事業実施を検討するなど、健康学習の充実や各種健康増進事業を推進します。	継続	同左
		⑤ 地域における健康づくり活動の促進	保健推進課	健康づくりを目的とした自主活動団体に対し、情報提供や講師派遣などの支援を行ない、地域における健康づくり活動を促進します。	継続	町内会や高齢者クラブなどに対し、積極的な情報提供や講師派遣などの支援を行い、地域における健康づくり活動を促進します。
		⑥ 健康診査・保健指導の推進	保健推進課	特定健康診査及び後期高齢者の健康診査を実施します。また、検診の結果必要な方には保健指導など、生活習慣病や疾病予防のための支援を行います。	継続	同左
		⑦ がん検診や骨粗しょう症等各種検診の実施	保健推進課	がんの早期発見のため各種がん検診を推進するとともに、節目年齢を対象に骨粗しょう症検診や歯周病検診を実施し高齢期の健康増進に努めます。	継続	同左
		⑧ 感染症予防の推進	保健推進課	高齢者に多い感染症である結核やインフルエンザ、またノロウイルスなどによる食中毒の発生などの予防啓発に努めるとともに、結核の早期発見を目的とした住民検診及び高齢者インフルエンザ予防接種を実施します。	拡充	高齢者に多い感染症である結核やインフルエンザ等の予防啓発に努めるとともに、結核の早期発見を目的とした住民検診及び高齢者インフルエンザ予防接種を実施します。また、新たに高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成事業の実施に向けて検討を行います。
		⑨ 食を中心とした健康づくりの推進	保健推進課	2－⑩から変更。	拡充	健康状態に合わせた食生活を支援するため栄養相談を実施するとともに、食生活の自立を支援するため料理教室等を開催します。

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
I 高齢期の健康づくりの推進	2 介護予防の推進	① 介護予防に関する啓発情報提供の推進	地域包括支援センター	認知症等の予防の必要性を広く発信していくことが重要なことから、今後とも啓発活動を積極的に推進します。	継続	介護予防の必要性を広く発信することが重要であるため、今後とも啓発活動を推進します。
		② 生活機能評価の実施	高齢者支援課 保健推進課	介護予防を充実するため生活機能評価を実施し、特定高齢者の把握に努めます。	廃止	
		追加 基本チェックリストの配布・回収	地域包括支援センター 高齢者支援課		新規	介護予防を充実するため基本チェックリストの配布・回収を行い、二次予防事業の対象者の把握に努めます。
		追加 介護予防サポーターの養成	地域包括支援センター		新規	介護予防の知識を深め、また、地域での介護予防教室等をサポートしてくれる人材の育成を図るため、介護予防サポーター養成講座を開催します。
		③ 筋力トレーニングの実施	スポーツ健康課	高齢者向けトレーニング教室の継続的な実施により、指導者の育成や参加者の組織化(サークル化)に努めるとともに、高齢者のトレーニング活動の日常生活化を図るための調査、研究を実施します。	継続	高齢者向けトレーニング教室の継続的な実施により、筋力低下による生活機能の低下を予防します。また、教室終了後も継続的にトレーニングを行えるよう家庭でも取り組みやすい運動プログラムの提供やサークル化の支援を行います。
		④ 通所型介護予防事業の推進	地域包括支援センター	特定(虚弱)高齢者を対象としたパワーリハビリ事業、アクティビティサービス、口腔機能向上事業等を実施し、要介護状態への予防を図ります。	継続	二次予防事業対象者(虚弱な高齢者)に、パワーリハビリ、アクティビティサービス事業等を実施し、要介護状態への予防を図ります。
		⑤ 訪問指導の推進	地域包括支援センター	専門職が訪問し、健康づくり・口腔衛生・栄養・運動等の指導を行うことで介護予防を図ります。	継続	二次予防事業対象者で通所による事業参加が困難な者に対し、専門職が訪問し、必要な相談・指導等を行うことで介護予防を図ります。
		⑥ 認知症サポーター体制の推進(認知症予防対策の推進)	地域包括支援センター	認知症者の地域理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を積極的に開催します。また、認知症に関する相談窓口の周知と、認知症の早期発見・早期対応を図るためのネットワークの構築を推進します。	拡充	認知症の地域理解を深めるために認知症サポーター養成講座を開催します。また、認知症に関する相談窓口の周知と、認知症の早期発見・早期対応を図るため、関係者とのネットワークの体制の充実を図ります。

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
Ⅰ 高齢期の健康づくりの推進	2 介護予防の推進	⑦ 介護予防教室の実施	地域包括支援センター	高齢者等を対象とした転倒予防教室、認知症予防教室、太極拳教室等を開催します。また、町内会・高齢者クラブ・地区社協等と協働し身近な場所で介護予防教室に参加できる機会を増やします。	継続	高齢者等を対象としたリハビリ教室、口腔機能向上教室、転倒予防教室、認知症予防教室、太極拳教室等を開催します。また、町内会・高齢者クラブ・地区社協等と協働し、高齢者等が身近な場所で介護予防教室に参加できる機会を増やします。
		⑧ 家族介護支援事業の実施	地域包括支援センター	認知症サポーター養成講座と連動し、認知症者を介護する家族を対象に認知症の理解、介護技術の向上等を図るとともに介護者の情報交換等の機会を確保します。	継続	認知症サポーター養成講座により養成したサポーター等関係者と連動し、交流会など介護家族者への効果的な支援の在り方を検討し、家族介護者の支援を図ります。
		⑨ 住民グループ支援事業の実施	高齢者支援課	高齢者の身体能力の低下・閉じこもりを予防するために、地域でいきいきサロン事業等を実施する団体を支援するとともに、事業の拡大・充実に向け取り組んでいきます。	継続	高齢者の身体能力の低下・閉じこもりを予防するために、地域でいきいきサロン事業等を実施する団体を支援するとともに、積極的な働きかけを行うなど事業の拡大・充実に向け取り組んでいきます。
		⑩ 食生活改善に対する相談・指導の実施	保健推進課	支援の必要性の高い対象者に対し指導を充実するとともに、健康相談や訪問による個別の指導を充実します。		1ー⑨へ変更。

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
Ⅱ 高齢者の自立を支えるサービス提供の推進	1 総合的整備サービス提供	① 「りんくる相談センター」の機能充実	地域包括支援センター	総合保健福祉センターりんくるを中心として、①介護予防ケアマネジメント事業②総合相談・支援事業③権利擁護事業④包括的継続的ケアマネジメント支援事業の4事業を展開させることにより、高齢者への総合的な支援に取り組むとともに、地域包括支援センター業務に対する周知や啓発を積極的に推進します。また、地域において気軽に相談できる場の確保に努めます。	継続	総合保健福祉センターりんくるを中心として、①介護予防ケアマネジメント事業②総合相談・支援事業③権利擁護事業④包括的継続的ケアマネジメント支援事業の4事業を展開させることにより、高齢者への総合的な支援に取り組むとともに、地域包括支援センター業務に対する周知や啓発を積極的に推進します。また、地域において気軽に相談できる場の確保に努めます。
		② 保健福祉制度や介護保険制度に関する情報提供の推進	高齢者支援課	出前講座などへの積極的な対応のほか、地域包括支援センターや民生委員などとの連携により、制度の浸透を図っていきます。	継続	同左
		① 介護保険給付サービス量の確保と質の向上	高齢者支援課	介護保険事業計画に基づき、訪問介護等の保険給付サービス量の確保に努めるとともに、サービスの質の向上に努めます。	継続	同左
	2 生活支援サービスの充実	② 介護保険サービスの質と利用者満足度の向上	地域包括支援センター	介護相談員が利用者宅や事業所、介護保険施設等を訪問し、利用者の相談・苦情・要望に対し、関係事業所との橋渡し役となり、介護サービスの質的向上とサービスの適正化を図ります。また、介護相談員の活動を広報誌やホームページ等で広く周知していきます。	継続	同左
		③ 配食サービスの推進	高齢者支援課	自分で調理が困難な独居高齢者等に栄養のバランスのとれた食事を提供し、ひとり暮らしの不安を解消する「食の自立」としてのサービスを推進します。	継続	独居高齢者等への適切な利用促進を図るため、広報や様々な媒体などの活用による周知に努めるとともに関係機関等との連携を強化するなど、「食の自立」や「安否確認」などとしてのサービスを推進します。
		④ 理美容・紙おむつ支給サービス等の推進	高齢者支援課	寝たきり高齢者等の生活の質の向上と経済的負担を軽減するため、理美容サービスや寝具洗濯乾燥消毒サービス、紙おむつ支給サービスを推進します。	継続	同左
		⑤ 介護予防サービスの推進	高齢者支援課	要介護認定の対象とならない虚弱な高齢者を対象に、介護予防の点から、「いきいきデイサービス」と「いきいきホームヘルプサービス」などのサービスを推進します。	継続	要介護認定の対象とならない虚弱な高齢者を対象に、いきいきホームヘルプサービス事業を推進します。 ※いきいきデイサービス事業をニコピン事業に統合（平成23年度）

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
Ⅱ 高齢者の自立を支えるサービス提供の推進	2 生活支援サービスの充実	⑥ 生活支援サービスの推進	高齢者支援課	ひとり暮らし高齢者等に対する生活不安を解消するために、緊急通報サービスや冬期間の快適な生活を確保するための除雪サービスなどの生活支援サービスを推進し、また、よりニーズにあったサービス提供や受益者負担のあり方など、サービス内容についても検討していきます。	継続	同左
		⑦ 徘徊認知症高齢者等探索機器貸与サービスの推進	高齢者支援課	徘徊する認知症高齢者の早期発見と事故の防止を図るなど、家族が安心して介護できる環境を整え、認知症高齢者の在宅生活を支援します。	継続	徘徊する認知症高齢者の早期発見と事故の防止を図るため、管内のSOSネットワークや地域包括支援センターと連携を図り、家族が安心して介護できる環境を整え、認知症高齢者の在宅生活を支援します。
		⑧ 外出支援サービスの推進	高齢者支援課	一般の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり高齢者等を対象に、市内医療機関等への送迎をするなど、移動手段を提供する外出支援サービスについて、ニーズにあったサービスへの転換を図るため、他の外出支援サービスや介護タクシーとの関連など、事業内容について再検討していきます。	継続	一般の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり高齢者等を対象に、市内医療機関等への送迎をするなど移動手段を提供する外出支援サービスについて、ニーズにあったサービスへの転換を図るため、他の外出支援サービスや介護タクシーとの関連など、事業内容について再検討していきます。特に厚田・浜益地域については、地域状況などを考慮した新たな交通システムの検討を図ります。
		⑨ 権利擁護事業の促進	地域包括支援センター	判断能力が低下した高齢者が、地域で安全な生活が送れるように消費者被害の防止、「権利擁護事業」の周知、促進と身寄りのない方の「成年後見人制度利用支援事業」の円滑な支援に取り組んでいきます。また、高齢者虐待防止ネットワークの充実と推進を図り、体制を強化していきます。	拡充	認知症の方やその家族の方の権利を守るため、各種制度や事業の啓発に努めます。また、相談や事業利用者増へ対応するため、第三者後見人の確保や今後の支援体制の整備に努めます。
		⑩ 「やすらぎ訪問活動事業」の取り組み	社会福祉協議会 福祉総務課	認知症高齢者の家族介護者を支援するため、ボランティアセンターなどとの連携により、近隣者やボランティア等による見守りや話し相手となる「やすらぎ訪問活動事業」について、実現化に向け取り組んでいきます。	拡充	認知症高齢者の家族介護者を支援するため、ボランティアだけでなく、「地域福祉サポーター」の養成や地域での見守り、支援活動の核となるセンター機能の確立及び充実に努めます。
		⑪ サービスのあり方の見直し	高齢者支援課	高齢者の自立と生活を支援する必要なサービスを検討するとともに、利用ニーズや社会状況に対応する効率的・効果的なサービスを提供します。	継続	同左

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
Ⅱ 高齢者の自立を支えるサービス提供の推進	3 施設サービスの充実	① 居住福祉型施設のユニットケア化の促進	高齢者支援課	より生活の質の向上を図る観点から、居住福祉型施設のユニットケア化を促進します。	継続	同左
		② 高齢者向住宅の整備促進	高齢者支援課	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者住宅やケア付き住宅など高齢者の多様な住まいの整備を促進します。	継続	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、民間を活用した、高齢者住宅やサービス付き高齢者向け住宅など高齢者の多様な住まいの整備を促進します。
	4 福祉人材の養成	① 介護支援専門員の資質の向上	地域包括支援センター	介護支援専門員連絡会議等を開催し、介護支援専門員同士の交流や情報交換できる機会を提供し、また、研修会の開催により、介護支援専門員の資質向上を目指します。	縮小	事業所間の連絡会との連携を密に図り、関係者全体を対象とした地域ケア会議等において研修や交流の機会を設け、引き続き資質の向上に努める。
		② 福祉人材拡充のための養成研修等の開催	社会福祉協議会 高齢者支援課	福祉人材のすそ野を拡充し、その技術や資質の向上を図るため、ホームヘルパー研修やボランティアの養成研修等の開催を促進し、特に専門研修と事後研修の実施に取り組みます。	継続	福祉人材のすそ野を拡充し、その技術や資質の向上を図るため、傾聴、災害ボランティア・コーディネーター、地域福祉コーディネーター研修等を実施し、人材育成を行います。
		③ ヘルパー講習等への支援	社会福祉協議会 高齢者支援課	高齢者の福祉分野における担い手としての就労を促進するため、市社会福祉協議会が行うヘルパー講習会への講師派遣や高齢受講者に対しての支援を検討します。	継続	同左

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
Ⅲ 高齢者を地域で支えるサービスコミュニティづくり	1 支え合うところや意識づくりの推進	① 市社会福祉協議会の広報誌や冊子の充実	社会福祉協議会 福祉総務課	市民の地域福祉活動への理解と協力を推進し、共生社会の実現に向け、地域福祉の推進主体である市社会福祉協議会が発行する広報誌や冊子の充実とホームページでの情報提供を促進します。	拡充	市社会福祉協議会が発行している現状の広報誌発行だけではなく、地域における福祉活動を事例集として市民に紹介することや、HPを活用したリアルタイムでの情報提供の充実を図る等、更なる情報提供の拡大について取り組んでいきます。
		② ボランティアセンター機能の充実	福祉総務課 社会福祉協議会	ボランティアの養成・確保や活動の活性化のため、市社会福祉協議会が設置・運営するボランティアセンターの機能充実の支援を行い、不足しがちな地域福祉活動の担い手や総合的な福祉関連活動の情報提供の機能を確立するなどの事業を促進します。	拡充	センター支援や活動の広報・啓発に留まらず、ボランティアの育成・養成のための体系的な研修の実施や、核となる人材（ボランティアコーディネーター）の養成、ボランティアニーズに応じた活動の発掘、ボランティア活動にやりがいや達成感が得られるような施策を講ずる等、更なる事業の拡大について取り組んでいきます。
		③ 福祉大会の充実	福祉総務課 社会福祉協議会	市民の福祉意識の啓発と高揚を図り、地域の福祉に繋がるような「福祉大会」の充実を支援します。	継続	同左
		④ 「ふれあい広場いしかり」の充実	福祉総務課 社会福祉協議会	ノーマライゼーションの普及等を目的とした「ふれあい広場いしかり」の充実を支援します。	継続	「ノーマライゼーション ^(*) からインクルージョン ^{(*)2} へ」の普及等を目的とした「ふれあい広場いしかり」の充実を支援します。
		① 住民グループ支援事業の実施【再掲】	高齢者支援課	高齢者の身体能力の低下・閉じこもりを予防するために、地域でいきいきサロン事業等を実施する団体を支援するとともに、事業の拡大・充実に向け取り組んでいきます。【再掲】	継続	高齢者の身体能力の低下・閉じこもりを予防するために、地域でいきいきサロン事業等を実施する団体を支援するとともに、積極的な働きかけを行うなど事業の拡大・充実に向け取り組んでいきます。【再掲】
	2 地域ケア体制の整備	② 地域包括支援センターを中心とした地域ケア体制の確立	地域包括支援センター	地域で安心して暮らしていくために保健・医療・福祉と連携した総合的なサービスの提供できる地域のネットワークづくりを推進します。	拡充	市民や関係団体等と協働事業を積極的に進めるなど、地域で安心して暮らしていくために保健・医療・福祉と連携した総合的なサービスを提供できる地域のネットワークづくりを推進します。
		追加 認知症等高齢者の地域支援合い活動の促進	地域包括支援センター		新規	認知症高齢者や家族へのサポート体制を強化するため、徘徊高齢者等SOSネットワークの充実強化や、認知症になっても安心して安全に生活できるように気軽に利用できる社会資源の創設、促進に努めます。
		③ 近隣での見守り・声かけ運動の促進	福祉総務課 社会福祉協議会	市社会福祉協議会等と連携して、ひとり暮らし高齢者等の安否確認や孤独の解消を目的とした、近隣での見守り・声かけ活動を促進します。	拡充	活動の担い手となる「地域福祉サポーター」の養成や、その他、市及び民間事業者による配食を通じた活動等、複合的層的な活動における役割分担の明確化、それらをつなげるネットワークシステムの構築や、活動の核となるセンター機能の確立及び充実を図る等、更なる事業展開について、検討を行います。

(*)1)ノーマライゼーション⇒障がい者や高齢者など社会的に不利を受けやすい人々（弱者）が、社会の中で他の人々と同様に生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方。また、弱者がスムーズに社会参加できるような環境の成立を目指す活動、運動。

(*)2)インクルージョン（ソーシャルインクルージョン）⇒全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から保護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念。

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
Ⅲ 高齢者を地域で支えるサービスコミュニティ	2 地域ケア体制の整備	④ ふれあい給食サービス事業の拡充	社会福祉協議会 福祉総務課	地域において行なわれている、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、ふれあい給食サービス事業の拡充を支援します。	継続	地域において行なわれている、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、ふれあい給食サービス事業の機能の充実や拡充を支援します。
		⑤ 地区社会福祉協議会の活動促進	社会福祉協議会 福祉総務課	小地域で福祉活動を推進する地区社会福祉協議会の活動を促進します。	拡充	小地域で福祉活動を推進する地区社会福祉協議会の活動を促進し、「地区社会福祉協議会の運営及び事業の支援」を図るため、新たな事業メニューの提示等、更なる事業展開について、検討を行います。
		⑥ 民生委員・児童委員との連携強化	福祉総務課 社会福祉協議会	民生委員・児童委員と連携を図り、地域ケアネットワークを強化し、地域での福祉問題を把握するとともに、その解決に努めます。	継続	同左
		⑦ ボランティア活動等におけるNPO法人等の支援	協働推進・市民協力の声を聞く課	市民の主体的なまちづくり活動を支援するための「市民活動情報センター」において、NPO法人をはじめとする市民活動団体の情報発信・運営・事務支援等を行っていきます。また、「協働事業提案制度」の活用により、団体の主体的な協働提案を積極的に募り、その実現を図られるよう努めていきます。	継続	地域の福祉力を高めるため市民活動情報センターにおいて、講座の開催やNPO法人等への情報提供など市民活動団体に対する支援等を行っていきます。また、「協働事業提案制度」の活用により市民主体のまちづくりをすすめる、新たな担い手の掘り起こし、育成に努めていきます。
		⑧ 「やなぎ訪問活動事業」の取り組み【再掲】	社会福祉協議会 福祉総務課	認知症高齢者の家族介護者を支援するため、ボランティアセンターなどとの連携により、近隣者やボランティア等による見守りや話し相手となる「やなぎ訪問活動事業」について、実現化に向け取り組んでいきます。【再掲】	拡充	認知症高齢者の家族介護者を支援するため、ボランティアだけでなく、「地域福祉サポーター」の養成や地域での見守り、支援活動の核となるセンター機能の確立及び充実を図るなど、形を変えた事業展開について検討を行います。【再掲】

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
IV 生きがいと張り合いのある高齢期の生活の質の確保	1 社会参加・社会貢献活動の促進	① 高齢者クラブの育成	高齢者支援課	高齢者の生きがいを高め、健康づくりを進めるため、高齢者自ら企画するボランティア活動や社会貢献活動などを行なう高齢者クラブの育成を図ります。	継続	同左
		② 「シニアブラザ」などの推進	社会教育課	高齢者の継続的な学習や交流の機会を提供するため、「シニアブラザ」などの推進を図ります。	継続	同左
		③ 芸能発表等の文化活動の促進	社会教育課	高齢者の生きがい活動を推進するため、芸能発表の場や交流の場の提供を行い、高齢者の文化活動を促進します。	継続	同左
		④ 高齢者の高度情報化社会への適応力の強化	社会教育課	高齢者の高度情報化社会への適応を図るため、コンピュータ教室等の情報学習機会を提供するとともに、高齢者自らホームページを作成・発信できる参加型情報システムを促進します。	縮小	同左
		⑤ 高齢者の生きがい農園事業の推進	高齢者支援課	収穫の喜びと生きがいづくりのため、高齢者の生きがい農園事業を推進します。	継続	同左
		⑥ 世代間交流の促進	社会教育課	社会教育事業の中で、世代間交流を意識した取り組みを推進していきます。	継続	学校支援地域本部事業の中で、世代間交流を推進していきます。
		⑦ シニアボランティアの育成・支援	社会福祉協議会 福祉総務課	高齢者が経験や知識を地域の福祉活動に活かすことで、生きがいをもって生活を送ることができるとともに、福祉人材の確保や地域社会における福祉の機運の高まりが期待されることから、高齢者のボランティアの育成などを支援します。	継続	同左
		⑧ 生涯スポーツの推進	スポーツ健康課	カローリング等のニュースポーツの普及や高齢者に対するスポーツ活動の支援を継続的に実施します。高齢者が気軽に、継続的にスポーツに親しむ環境を整備するため、ウォーキングロードの設定やウォーキングマップづくりを実施します。また、世代間交流のできる総合型地域スポーツクラブ設立に向けての基盤整備を実施します。	継続	カローリング等のニュースポーツの普及や高齢者に対するスポーツ活動の支援を継続的に実施します。また、最も気軽に誰でも行えるウォーキングのさらなる推進を図ります。

第5期計画での施策の考え方

基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
IV 高生 齢が 期の 生活 の質 の確 保あ る	2 就 労 の 促 進	① 高齢者の雇用啓発の推進	商工労働観光課	国・道と連携を強め、高齢者の雇用啓発について積極的に取り組んでいきます。	継続	国・道と連携を強め、高齢者の安定した雇用の確保のため各種制度の周知を行い雇用啓発について積極的に取り組んでいきます。
		② 就労に関する情報提供の推進	商工労働観光課	高齢者の就労を促進するため、継続して情報提供に努め、就労を希望する高齢者のニーズに応えていきます。	継続	高齢者の就労を促進するため、ジョブガイドいしかり(石狩市ふるさとハローワーク)との連携による情報提供に努め、就労を希望する高齢者へのニーズに応えていきます。
		③ シルバー人材センターの支援	商工労働観光課	高齢者の知識や技術・経験を活かした就労、高齢者の生きがい就労等を推進するシルバークリニカを支援します。	継続	同左
		④ ニューシルバービジネス育成の支援	協働推進・市民の声を聞く課	コミュニティビジネス等については、情報提供・相談・啓発講座等の実施により推進していきます。	廃止	

第5期計画での施策の考え方

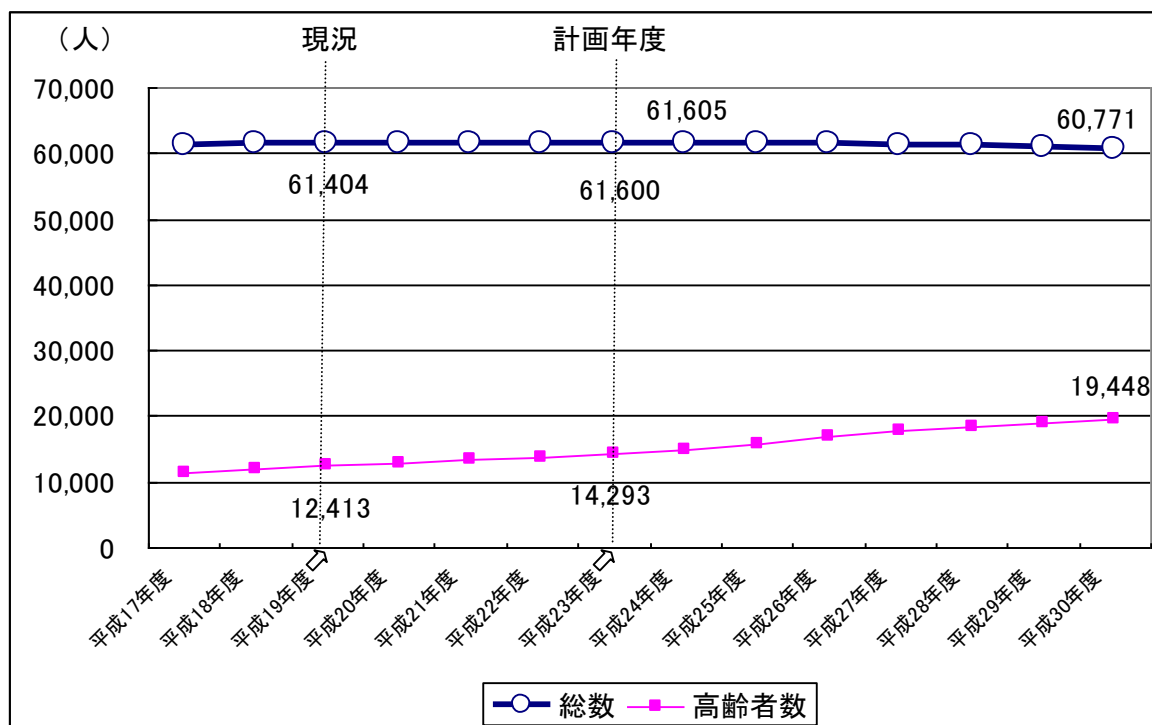
基本目標	テーマ	主要施策	担当課	第4期計画の施策内容	予定	次期計画での施策の内容
V 高齢者が暮らしやすい魅力あるまちづくりの推進	1 ユニバーサルデザインによるまちづくり	① バリアフリーに向けた既存施設の改修	管理課 都市整備課	高齢者が安全に外出し、社会参加ができるよう、公共的建築物や道路、公園のバリアフリー化を推進するため、計画的に既存施設の改修を行います。	継続	同左
		② 石狩市福祉のまちづくり条例の啓発	福祉総務課	全ての市民が一体となって地域福祉を推進するとともに、公共的な施設、情報、サービス等の円滑な利用に配慮した人いやさいまいまちづくりを総合的に進めるための基本となる「石狩市福祉のまちづくり条例」の啓発を推進します。	継続	同左
		③ ふれあい雪かき運動の推進	高齢者支援課	冬期間高齢者が安心して生活できる環境の確保と地域福祉の向上を目指し、町内会が協力して実施するふれあい雪かき運動を推進します。	継続	冬期間高齢者が安心して生活できる環境の確保と地域福祉の向上を目指し、関係団体等との連携のもと事業の拡大を推進するとともに、町内会などが協力して実施するふれあい雪かき運動を推進します。
		④ 除雪サービスの拡充と新規除雪対策事業の創設	高齢者支援課	除雪が困難な一人暮らし高齢者に対する除雪サービスの拡充と新たな除雪対策事業を検討し、冬期の生活支援を推進します。	継続	同左
		⑤ 歩道の除雪等の充実	都市整備課	冬期において、高齢者等が安全に移動できるよう、歩道の除雪等の充実を図ります。	継続	同左
		⑥ 外出支援サービスの推進【再掲】	高齢者支援課	一般の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり高齢者等を対象に、市内医療機関等への送迎をするなど移動手段を提供する外出支援サービスについて、ニーズにあったサービスへの転換を図るため、他の外出支援サービスや介護タクシーとの関連など、事業内容について検討していきます。【再掲】	継続	一般の交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり高齢者等を対象に、市内医療機関等への送迎をするなど移動手段を提供する外出支援サービスについて、ニーズにあったサービスへの転換を図るため、他の外出支援サービスや介護タクシーとの関連など、事業内容について再検討していきます。特に厚田・浜益地域については、地域状況などを考慮した新たな交通システムの検討を図ります。【再掲】
	2 優良な住宅の普及促進	① 公的賃貸住宅の整備の推進	建築課 福祉総務課	高齢者の生活特性に配慮したバリアフリー化された公営住宅等の整備を行なうとともに、生活援助員による日常生活支援サービスを提供する公的賃貸住宅（シルバーハウジング等）の整備の推進を図ります。	継続	今年度策定予定の「石狩市公営住宅等長寿命化計画」の中で、シルバーハウジング等の整備の位置付けについて検討をすすめていきます。
		② 高齢者向住宅の整備促進【再掲】	高齢者支援課	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、高齢者住宅やケア付き住宅など高齢者の多様な住まいの整備を促進します。【再掲】	継続	高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、民間を活用した、高齢者住宅やサービス付き高齢者向け住宅など高齢者の多様な住まいの整備を促進します。【再掲】

2. 推計値等の検証

1) 人口推計

- 第4期計画においては、平成19年度データ（住民基本台帳：10月）を基に推計を行い、平成30年度に60,771人と推計した。
- 平成19年度以降の石狩市の人口の動きをみると、平成20年度は118人減少し61,286人、平成21年度は前年度より91人減少し61,195人、平成22年度はそこから更に118人減少し61,077人となっており、推計値の61,580人と503人の差となっている。
- 生活圏域別の人口推移を実績値でみると、石狩圏域では65歳未満の人口が減少したにもかかわらず、それ以上に65歳以上の人口が増加したことにより総人口は増加している。一方、厚田・浜益圏域では全ての年齢構成別人口において減少傾向が見られる。
- 年齢構成別に推計値と実績値の比較をすると、全ての年齢構成別人口において推計値より減少という結果になっている。

■ 第4期計画で推計した人口予測



■ 推計値と実績値の比較

		2008年	2009年（平成21年）		2010年（平成22年）	
		実績値	推計値	実績値	推計値	実績値
石狩市 合計	0～39歳	25,901	25,757	25,550	25,467	25,139
	40～64歳	22,432	22,308	22,238	22,291	22,178
	65歳以上	12,953	13,456	13,407	13,822	13,760
	65～74歳	6,995		7,268		7,403
	75歳以上	5,958		6,139		6,357
	高齢化率	21.1	21.9	21.9	22.4	22.5
	総人口	61,286	61,521	61,195	61,580	61,077

※生活圏域別人口推移（実績）

		2008年	2009年（平成21年）	2010年（平成22年）
		実績値	実績値	実績値
石狩圏域	0～39歳	24,675	24,392	24,039
	40～64歳	20,950	20,788	20,767
	65歳以上	11,247	11,721	12,105
	65～74歳	6,246	6,536	6,703
	75歳以上	5,001	5,185	5,402
	高齢化率	19.8	20.6	21.3
	総人口	56,872	56,901	56,911
厚田圏域	0～39歳	802	761	731
	40～64歳	888	876	867
	65歳以上	826	821	805
	65～74歳	389	380	367
	75歳以上	437	441	438
	高齢化率	32.8	33.4	33.5
	総人口	2,516	2,458	2,403
浜益圏域	0～39歳	424	397	369
	40～64歳	594	574	544
	65歳以上	880	865	850
	65～74歳	360	352	333
	75歳以上	520	513	517
	高齢化率	46.4	47.1	48.2
	総人口	1,898	1,836	1,763

2) 要介護認定者と介護給付費

- 要介護認定者数は介護保険制度開始以降一貫して増加しており、平成22年度で2,278人、認定者率はここ3年間を見ると緩やかに上昇しているがほぼ横ばいである。
- 推計値と比較してみると、平成21年度では実績値のほうが36人、平成22年度では実績値のほうが57人少なくなっている。
- 介護度別にみると、平成21年度は要介護者の人数について推計値より実績値のほうが減少しており、平成22年度は要介護3及び5について減少傾向がより顕著にみられる。
- 給付費（介護サービス等諸費＋介護予防サービス等諸費）は、平成22年度で推計値31億6千万円に対し、実績では30億2千万と約1億4千万円の減額となっている。

■認定者数の推移

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第1号被保険者数(人)		9,617	9,996	10,363	10,744	11,039	11,459	11,882	12,413	12,953	13,407	13,760
認定者数(人)		1,217	1,307	1,491	1,677	1,751	1,895	2,010	2,056	2,125	2,206	2,278
構成比	旧要支援	要支援1	145	122	188	264	285	301	127	140	136	169
	旧要介護1	要支援2	312	368	444	514	609	257	264	316	301	329
		要介護1						504	437	432	472	542
	要介護2	要介護2	249	288	278	264	243	263	324	359	370	382
	要介護3	要介護3	192	186	209	214	211	254	301	324	344	328
	要介護4	要介護4	165	172	174	211	215	237	250	273	263	294
	要介護5	要介護5	154	171	198	210	237	231	247	259	264	260
	認定者率		12.7%	13.1%	14.4%	15.6%	15.9%	16.5%	16.9%	16.6%	16.4%	16.5%
	旧要支援	要支援1	11.9%	9.3%	12.6%	15.7%	16.3%	15.9%	6.3%	6.8%	6.4%	7.7%
		要支援2	25.6%	28.2%	29.8%	30.6%	32.0%	12.8%	12.8%	14.9%	13.6%	14.4%
	旧要介護1	要介護1						25.1%	21.3%	20.3%	21.4%	23.8%
	要介護2	要介護2	20.5%	22.0%	18.6%	15.7%	13.9%	13.9%	16.1%	17.5%	17.4%	17.3%
	要介護3	要介護3	15.8%	14.2%	14.0%	12.8%	12.1%	13.4%	15.0%	15.8%	16.2%	14.9%
	要介護4	要介護4	13.6%	13.2%	11.7%	12.6%	12.3%	12.5%	12.4%	13.3%	12.4%	13.3%
	要介護5	要介護5	12.7%	13.1%	13.3%	12.5%	13.5%	12.2%	12.3%	12.6%	12.4%	11.8%

■認定者と給付費の推計値と実績値の比較

		推計値			実績値		計画値との増減	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
被保険者総数		35,764	36,113	36,525	35,645	35,938	-119	-175
第1号被保険者		13,456	13,822	14,293	13,407	13,760	-49	-62
	65～69歳	4,233	4,285	4,404	4,172	4,194	-61	-91
	70～74歳	3,091	3,184	3,328	3,096	3,209	5	25
	75～79歳	2,520	2,552	2,608	2,507	2,555	-13	3
	80～84歳	1,896	1,988	2,018	1,904	1,998	8	10
	85歳以上	1,716	1,813	1,935	1,728	1,804	12	-9
第2号被保険者		22,308	22,291	22,232	22,238	22,178	-70	-113
認定者総数		2,242	2,335	2,428	2,206	2,278	-36	-57
旧要支援	要支援1	154	160	168	169	157	15	-3
旧要介護1	要支援2	291	305	319	301	329	10	24
	要介護1	484	509	533	472	542	-12	33
要介護2		388	400	414	382	400	-6	0
要介護3		350	362	374	328	279	-22	-83
要介護4		296	308	318	294	311	-2	3
要介護5		279	291	302	260	260	-19	-31
給付費(千円)		2,988,361	3,163,058	3,273,874	2,919,592	3,017,234	-68,769	-145,824

注：ここで挙げている給付費は「介護サービス等諸費」と「介護予防サービス等諸費」の合算値。

3) 地域密着型サービスの提供量

- 第4期計画において見込んだ地域密着型サービス必要定員総数については、下記のとおり概ね整備目標値を達成している。(小規模多機能型居宅介護事業所については、運営基準上登録定員が25名以下と定められており、現在整備中の同事業所における登録定員は24名として指定申請予定となっている。)

■ 地域密着型サービスの目標値と実績値比較

	平成22年度	平成23年度迄	達成率
	(実績値)	(目標値)	
小規模多機能型居宅介護	^{※1} 49人	50人	98%
認知症対応型共同生活介護	^{※2} 241人	241人	100%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	49人	49人	100%

※1 現在1施設（登録定員24名）整備中

※2 現在1施設（2ユニット18名）整備中

4) 介護保険サービス

○ 平成 21 年度における介護給付については、「訪問介護」「短期入所療養介護」「小規模多機能型居宅介護」等において、計画値と実績値が乖離しており、介護予防給付については多くのメニューで実績値が計画値を上回っている。また、平成 22 年度における介護給付及び介護予防給付はそれぞれ前年度と似た傾向がみられる。

■介護（予防）給付サービスの提供量の推移及び計画値と実績値比較

介護給付サービスの提供量

		介護給付(要介護1～5)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度
訪問介護	回/年	計画値	32,952	33,421
		実績値	47,804	51,893
訪問入浴介護	回/年	計画値	1,103	1,092
		実績値	957	965
訪問看護	回/年	計画値	6,789	6,818
		実績値	6,729	8,695
訪問リハビリテーション	日/年	計画値	2,233	2,254
		実績値	1,888	926
居宅療養管理指導	件/年	計画値	1,441	1,443
		実績値	1,563	1,804
通所介護	回/年	計画値	25,971	26,410
		実績値	25,203	27,801
通所リハビリテーション	回/年	計画値	19,188	19,334
		実績値	17,818	20,646
短期入所生活介護	日/年	計画値	6,668	6,598
		実績値	7,495	8,253
短期入所療養介護	日/年	計画値	4,642	4,609
		実績値	2,882	2,677
福祉用具貸与	件/年	計画値	3,213	3,222
		実績値	3,662	4,177
福祉用具販売	件/年	計画値	143	145
		実績値	117	127
住宅改修費	件/年	計画値	128	129
		実績値	150	144
特定施設入居者生活介護	人	計画値	40	45
		実績値	40	41
介護予防支援・居宅介護支援	人/年	計画値	8,858	9,020
		実績値	8,329	8,873
夜間対応型訪問介護	人/年	計画値	0	0
		実績値	0	0
認知症対応型通所介護	回/年	計画値	2,716	2,748
		実績値	2,377	2,688
小規模多機能型居宅介護	人/年	計画値	60	120
		実績値	0	85
認知症対応型共同生活介護	人	計画値	168	187
		実績値	162	190
地域密着型 特定施設入居者生活介護	人	計画値	0	0
		実績値	0	0
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	人	計画値	20	49
		実績値	20	22
介護老人福祉施設	人	計画値	219	221
		実績値	229	226
介護老人保健施設	人	計画値	143	146
		実績値	127	116
介護療養型医療施設	人	計画値	78	75
		実績値	72	63
地域支援事業(特定高齢)	人	計画値		
		実績値		

介護予防給付サービスの提供量

		予防給付(要支援1～2)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度
訪問介護	人/年	計画値	891	929
		実績値	1,002	1,176
訪問入浴介護	回/年	計画値	0	0
		実績値	0	0
訪問看護	回/年	計画値	468	488
		実績値	772	980
訪問リハビリテーション	日/年	計画値	157	164
		実績値	135	0
居宅療養管理指導	件/年	計画値	24	25
		実績値	12	63
通所介護	人/年	計画値	1,098	1,103
		実績値	1,240	1,272
通所リハビリテーション	人/年	計画値	608	603
		実績値	820	708
短期入所生活介護	日/年	計画値	95	99
		実績値	198	237
短期入所療養介護	日/年	計画値	164	171
		実績値	90	213
福祉用具貸与	件/年	計画値	422	441
		実績値	618	736
福祉用具販売	件/年	計画値	34	36
		実績値	56	70
住宅改修費	件/年	計画値	47	49
		実績値	70	72
特定施設入居者生活介護	人	計画値	4	5
		実績値	5	5
介護予防支援・居宅介護支援	人/年	計画値	2,877	3,002
		実績値	3,255	3,403
夜間対応型訪問介護	人/年	計画値		
		実績値		
認知症対応型通所介護	回/年	計画値	15	16
		実績値	0	0
小規模多機能型居宅介護	人/年	計画値	36	72
		実績値	0	17
認知症対応型共同生活介護	人	計画値	1	1
		実績値	1	1
地域密着型 特定施設入居者生活介護	人	計画値		
		実績値		
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	人	計画値		
		実績値		
介護老人福祉施設	人	計画値		
		実績値		
介護老人保健施設	人	計画値		
		実績値		
介護療養型医療施設	人	計画値		
		実績値		
地域支援事業(特定高齢)	人	計画値		
		実績値		

* 第 4 期計画書及び介護給付実績より作成